

Web Caster FT5000ワイヤレスセット

WBC FT5000-AP

WBC FT5000-STC

WBC FT5000-STU

取扱説明書

このたびは、Web Caster FT5000ワイヤレスセットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みにになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために 必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

「安全にお使いいただくために」のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料金」は、不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の対応OSは、Windows® Me、Windows® 98、Windows® 2000 Professional（日本語版）です。ただし、対応OSで使用される場合でもお客様が使用されているパソコンの環境などによっては、すべての動作を保証するものではありません。また、対応OS以外でご利用される場合は、動作の保証はいたしませんのであらかじめご了承ください。

警告

- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、改造は法律で禁止されています。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 発熱・発煙・異臭がする場合、そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、電源プラグをコンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットを構成する部品どうしの接合部には手を触れないでください。けがの原因となることがあります。

警告

- お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。電源コードや電話機コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。
- 電源プラグを電源コンセント（AC100 V）に差し込むときは、確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグの本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重症を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お使いになる前に（設置環境）

注意

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お使いのとき

注意

- 雷がが鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 次のような使い方はしないでください。
 - じゅうたんや布団の上に置く。
 - テーブルクロスなどをかける。
 - 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
 - あおむけに置く。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず乾電池を抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。
- お手入れをするときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 乾電池は正しくお使いください。使い方を間違えると液もれや破裂することがあります。次の点にご注意ください。
 - 保障期間内の単 3 アルカリ乾電池をお使いください。
(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません)
 - 乾電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
 - 乾電池のプラス(+)、マイナス(-)の方向を確認して入れてください。
 - 乾電池の液もれによる装置の故障については保障いたしかねます。
 - 新しい乾電池と古い乾電池は混用しないでください。
 - 使用済みの乾電池を火中に投げないでください。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

取り扱いについて

お願い

- ペンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 管理者パスワードやネットワーク名（ESSID）は、必ず変更してください。
 - 管理者パスワードを変更しないと、ネットワーク上の誰からでも本商品の設定を行うことができ、セキュリティの面から非常に危険です。
 - ワイヤレス LAN 機能のご利用にかかわらず、ネットワーク名（ESSID）を変更しないと、隣接した同一機種（WBC FT5000-STC、WBC FT5000-STU）を使用したワイヤレス LAN から、アクセスされる可能性があり、セキュリティの面から非常に危険です。

置き場所について

お願い

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- 本商品を積み重ねて使用しないでください。本商品を 2 台以上使用する場合、積み重ねて設置すると、故障の原因となるおそれがあります。
- 周囲の環境（壁、家具など）によって使用範囲が狭くなることがあります。
 - 本商品と WBC FT5000-STC や WBC FT5000-STU を接続したパソコン間で通信できる範囲を確かめてください。

はじめに

このたびは、『Web Caster FT5000 ワイヤレスセット』をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

『Web Caster FT5000 ワイヤレスセット』（以下 Web Caster FT5000 と称します。）は、フレッツ・ADSL を使用し、ネットワーク上のパソコンからインターネットに接続してご利用いただける製品です。

『Web Caster FT5000 ワイヤレスセット』はワイヤレス通信機能を搭載していますので、『WBC FT5000-AP』（以下 Web Caster FT5000 アクセスポイントと称します）をワイヤレス親機、『WBC FT5000-STC』 / 『WBC FT5000-STU』（以下 Web Caster FT5000 ステーションと称します）をワイヤレス子機として親機と離れたところから無線で通信できます。

本書では Web Caster FT5000 の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、Web Caster FT5000 を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと大切に保管してください。

本商品を ADSL 回線に接続してお使いいただくには、別途 ADSL モデムが必要です。

■ ワイヤレス機器の使用上の注意

- 本商品は、2.4 GHz 帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - （１）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - （２）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - （３）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、NTT 通信機器取扱相談センタにお問い合わせください。
- 本商品は、2.4 GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式を採用しており、与干渉距離は 40 m です。



2.4 : 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を示す

DS : 変調方式を示す

4 : 想定される干渉距離が 40 m 以下であること

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。Windows 2000 は、Windows 2000 Professional の略です。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
はじめに	7
目次	8
「データ通信詳細ガイド」目次	12
本書の見かた	13
電子マニュアルの見かた	14
Web Caster FT5000 できること	15
フレッツ・ADSLで快適インターネット	15
無線HUBモードでワイヤレスネットワークの拡張	16
ユーティリティで簡単設定/接続	17

1 章 最初にここまでやりましょう

1-1	セットを確認してください	1-2
1-2	各部の名前とはたらき	1-3
	Web Caster FT5000 アクセスポイント	1-3
	Web Caster FT5000 ステーション	1-6
1-3	Web Caster FT5000 アクセスポイントを接続するための準備	1-7
	Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れる	1-7

2 章 インターネットをしましょう

2-1	パソコンと接続するポートを確認する	2-2
	Web Caster FT5000 アクセスポイントを接続する前に	2-2
	PCカードタイプWeb Caster FT5000 ステーションを 使用する	2-3
	USBタイプWeb Caster FT5000 ステーションを使用する	2-4
	Web Caster FT5000 アクセスポイントのUSBポートを 使用する	2-6
2-2	Web Caster FT5000 ステーションにパソコンを接続する	2-7
	イーザーアシスタントをインストールする	2-7
	Web Caster FT5000 導入ウィザードで設定する (ステーション)	2-10
	Web Caster FT5000 アクセスポイントとの通信状態を 確認する(ステーションマネージャ)	2-17
2-3	Web Caster FT5000 アクセスポイントのUSBポートに パソコンを接続する	2-18
	イーザーアシスタントをインストールする	2-18
	Web Caster FT5000 導入ウィザードで設定する (USBポート)	2-18
2-4	インターネットの接続設定をする	2-23
	ADSL (PPPoEモード)でインターネット接続を設定する	2-23

	ADSL モデムに接続する	2-25
	ローカルルータモードでインターネット接続を設定する	2-27
2-5	インターネットに接続する	2-31
	アクセスマネージャで接続状態を確認する	2-31
	フレッツ・ADSL でインターネットに接続する	2-32
	ローカルルータモードでインターネットに接続する	2-32
3 章	各種ユーティリティを使いこなしましょう	
3-1	イージーアシスタントの基本操作	3-2
	イージーアシスタントの使いかた	3-2
3-2	イージーアシスタントで設定できること	3-4
	メインメニュー画面	3-4
	接続先の設定画面	3-5
3-3	アクセスポイントマネージャで設定する	3-6
	アクセスポイントマネージャを起動するには	3-6
	Web Caster FT5000 アクセスポイントマネージャ画面	3-7
3-4	ステーションマネージャで設定する	3-12
	ステーションマネージャを起動するには	3-12
4 章	LAN 機能を使いこなしましょう	
4-1	LAN のデータ通信機能	4-2
	NAT / IP マスカレード	4-2
	NAT / IP マスカレードオプション	4-2
	フィルタリング	4-4
	DHCP サーバ機能	4-5
	DNS フォワーディング	4-7
	IP ルータ機能	4-8
	IEEE802.11b 無線 LAN	4-9
	ステーションマネージャで通信状態を確認する	4-9
	WEP / MAC アドレスセキュリティ機能	4-10
	WEP	4-10
	MAC アドレスセキュリティ機能	4-11
	ロギング機能	4-12
	接続ログを見るには	4-12
	詳細ログを表示するには	4-13
4-2	ファイルとプリンタの共有	4-14
	LAN を使ったファイルとプリンタの共有	4-14
	ファイルとプリンタ共有の利用例 (サーバとクライアント)	4-14
	LAN に接続するための準備	4-15

	ファイルとプリンタを共有する	4-17
	フォルダやプリンタに共有を設定する (サーバ)	4-17
	共有フォルダや共有プリンタを利用する (クライアント)	4-18
4-3	無線 HUB モードによるネットワーク拡張	4-19
	無線 HUB モードの設定手順	4-20
	ユーティリティやドライバをインストールする	4-21
	イーザーアシスタントをインストールする	4-21
	Web Caster FT5000 導入ウィザードでドライバを インストールする	4-22
	アクセスポイントマネージャでアクセスポイントの ネットワーク設定を変更する	4-24
	ステーションマネージャの設定を変更する	4-25
	無線 HUB モードを設定する	4-26
	Web Caster FT5000 アクセスポイントを ネットワークに接続する	4-27
	Web Caster FT5000 アクセスポイントと ハブを接続する	4-27
	Web Caster FT5000 アクセスポイントおよび ハブの接続を確認する	4-27
	Web Caster FT5000 ステーションからの インターネット接続を確認する	4-28
	無線接続するパソコンの利用範囲を確認する	4-28
	お困りのときには	4-30
	ネットワークの参照ができない場合	4-30
4-4	Web Caster FT5000 のセキュリティ機能について	4-31
	WAN 側へのセキュリティ機能	4-32
	NAT / IP マスカレード機能	4-33
	フィルタリング機能	4-33
	アクセスマネージャによる接続設定機能	4-34
	無線ネットワーク内のセキュリティ機能	4-37

5 章 お困りのときには

5-1	トラブルシューティング	5-2
	設置に関するトラブル	5-2
	通信に関するトラブル	5-2
	イーザーアシスタントに関するトラブル	5-3
	ADSL 接続でのトラブル	5-3
5-2	初期化	5-4
	アクセスポイントマネージャで初期化する	5-4
	ディップスイッチで初期化する	5-5
5-3	自己診断	5-6
	自己診断を行う	5-6

6 章 付録

6-1	製品仕様	6-2
	Web Caster FT5000 アクセスポイント仕様	6-2
	ディップスイッチ	6-4
	USB ポートインタフェース	6-5
	10BASE-T ポートインタフェース	6-5
	Web Caster FT5000 ステーション仕様	6-6
6-2	用語解説	6-7
6-3	索引	6-9
6-4	保守サービスのご案内	6-11

「データ通信詳細ガイド」目次

1 章	LAN 機能	
1-1	パソコン間通信 (アドホックモード)	1-2
1-2	ファイルとプリンタの共有 (Windows®)	1-7
2 章	設定のバックアップ	
2-1	設定内容を確認する	2-2
2-2	設定内容を保存する	2-3
3 章	バージョンアップ	
3-1	Web Caster FT5000 をバージョンアップする	3-2
4 章	ドライバの手動インストール	
4-1	WBC FT5000-AP の USB-LAN ドライバをインストールする	4-2
4-2	WBC FT5000-STU のドライバをインストールする	4-12
4-3	WBC FT5000-STC のドライバをインストールする	4-20

本書の見かた

必要に応じて、以下の順番でお読みください。

1 最初にここまでやりましょう

最初に必ずお読みください。



2 インターネットをしましょう

パソコンの接続とインターネットの接続設定について説明しています。



3 各種ユーティリティを使いこなしましょう

Web Caster FT5000を活用するために、イーザーアシスタントなど、各種ユーティリティの使い方を説明しています。



4 LAN機能を使いこなしましょう

Web Caster FT5000でお使いいただけるLAN機能について説明しています。



お知らせ

- 本書に書かれていないデータ通信機能の詳細や、「お困りのときには」は添付のCD-ROMをご覧ください。
- 本文中では、Web Caster FT5000-APを「Web Caster FT5000 アクセスポイント」、WBC FT5000-STC / WBC FT5000-STUを「Web Caster FT5000 ステーション」と呼びます。

電子マニュアルの見かた

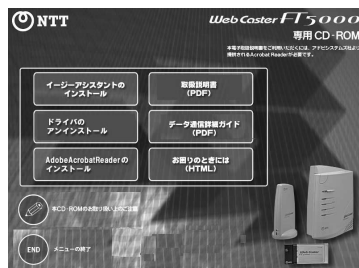
データ通信機能の詳細についてや、「お困りのときには」は、添付のCD-ROM「Web Caster FT5000 専用 CD-ROM」に収録されている電子マニュアルをご覧ください。

お願い

- 「データ通信詳細ガイド」をご覧になるとき、AcrobatReader3.0 以上をインストールされていない方は、[データ通信詳細ガイド] ボタンをクリックする前に、[AcrobatReader のインストール] ボタンをクリックして、AcrobatReader4.05 をインストールしてください。

1 パソコンを起動し、添付のCD-ROM「Web Caster FT5000 専用 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
ユーティリティや電子マニュアルのメニュー画面が表示されます。

2 読みたいファイルのボタンをクリックする



お知らせ

- 「お困りのときには」をご覧になるには、WWW ブラウザがインストールされている必要があります。

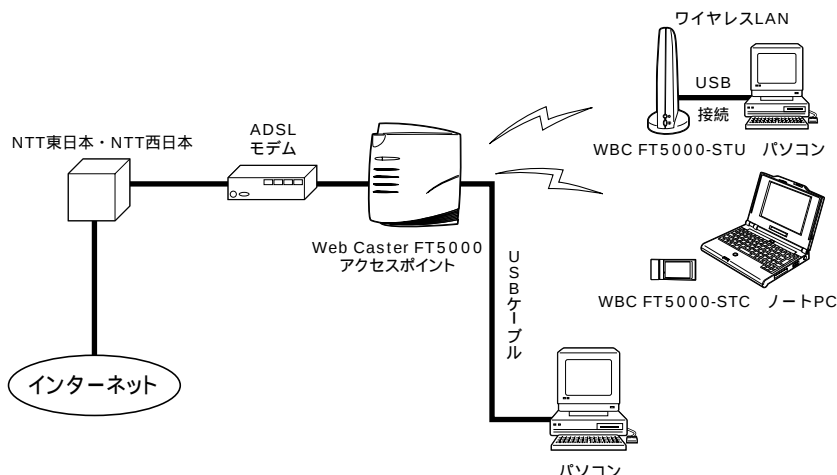
Web Caster FT5000 で できること

フレッツ・ADSLで快適インターネット

Web Caster FT5000 は、ADSL モデムに接続して使うワイヤレスブロードバンドルータです。Web Caster FT5000 アクセスポイント、Web Caster FT5000 ステーションに接続したパソコンからインターネットに接続することができます。

また、Web Caster FT5000 に接続したパソコン間で LAN 機能を利用することができます。

別途 ADSL モデムが必要です。



● インターネット接続

ADSL 回線を利用したインターネット接続ができます。

- ・ フレッツ・ADSL に接続してインターネット接続ができます。
- ・ ルータタイプの ADSL モデムにも接続できます（ローカルルータモード）。

● ファイルとプリンタの共有

Web Caster FT5000 アクセスポイント、Web Caster FT5000 ステーションに接続したパソコン間で、無線接続、有線接続に関係なくファイルやプリンタを共有することができます。（P4-14）

● Web Caster FT5000 ステーションの増設

別売の Web Caster FT5000 ステーション（WBC FT5000-STC、WBC FT5000-STU）を増設することができます。

接続できるパソコンは USB LAN 接続のパソコンも含めて全部で 32 台までです。10 台以下でのご使用を推奨します。

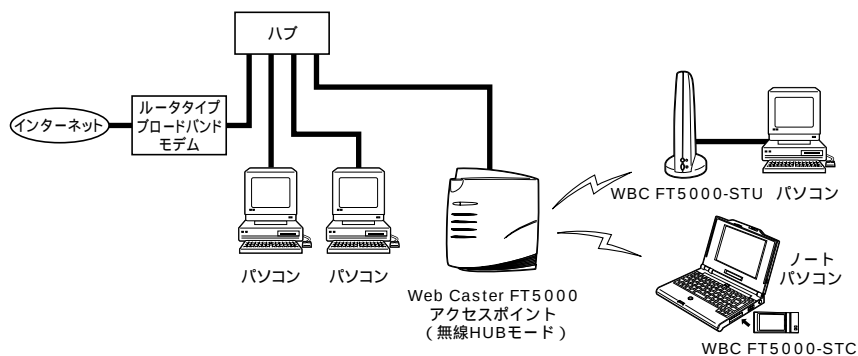
無線 HUB モードでワイヤレスネットワークの拡張

- LAN 上のパソコン間で通信する（無線 HUB モード）

Web Caster FT5000 アクセスポイントに接続した有線 LAN / 無線 LAN 上のパソコン間で通信を行うことができます。

「4-3 無線 HUB モードによるネットワーク拡張」(P4-19)

ルータタイプのブロードバンドモデムに Web Caster FT5000 アクセスポイントを接続する

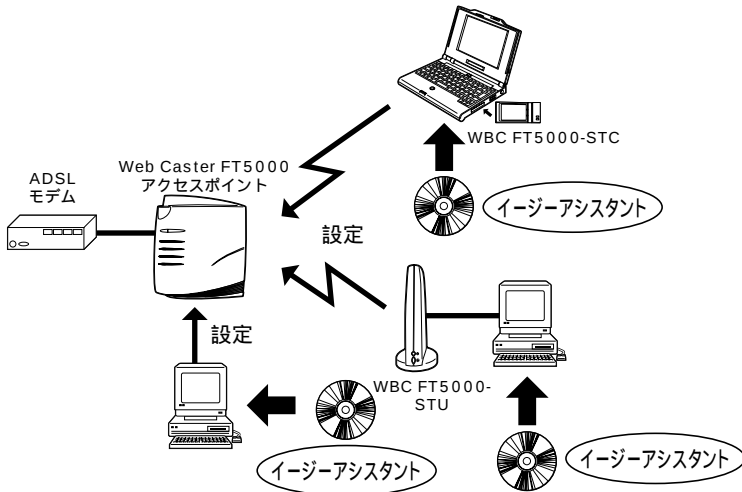


ユーティリティで簡単設定 / 接続

LAN 機能、インターネット接続の設定は、すべて添付ユーティリティ「イージーアシスタント」を利用して簡単に設定することができます。また、Web Caster FT5000 アクセスポイント、Web Caster FT5000 ステーションに接続したどのパソコンからも同じように設定を行うことができます。

イージーアシスタント

イージーアシスタントは、Web Caster FT5000 を設定することができるユーティリティです。イージーアシスタントに、ドライバのインストールなどを行う導入ウィザードやインターネット接続設定、バージョンアップなどを行う各種ツールが入っています。



イージーアシスタントはWeb Caster FT5000 シリーズ共通です。お使いの機種によっては無効になるボタンがあります。

アクセスマネージャ

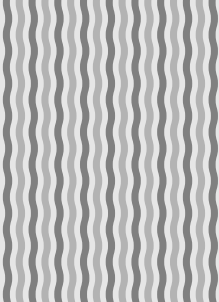
イージーアシスタントをインストールすると、同時にインストールされます。インターネットへの接続設定や、接続操作を行うユーティリティです。アクセスマネージャにより、常時接続のインターネットとパソコンの接続を切り離したり、接続状態をチェックしたりできます。

ステーションマネージャ

イージーアシスタントをインストールすると、同時にインストールされます。Web Caster FT5000 ステーションで利用するユーティリティです。Web Caster FT5000 アクセスポイントとの無線通信の設定をすることができます。

アクセスポイントマネージャ

イージーアシスタントをインストールすると、同時にインストールされます。Web Caster FT5000 のLAN 機能の詳細な設定を行うことができるユーティリティです。

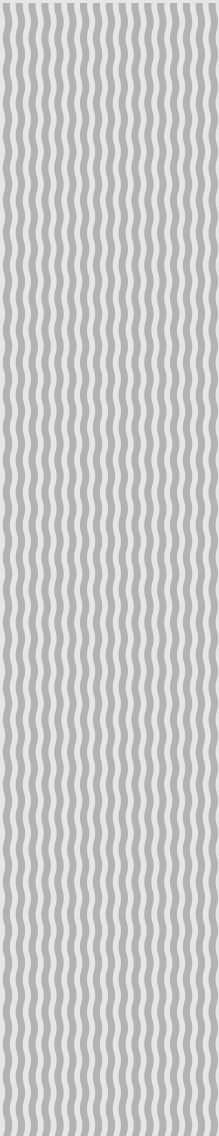


1

最初にここまでやりましょう

最初に必ずこの作業を行ってください。

1

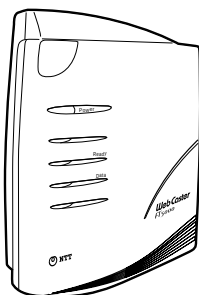
- 
- 1-1 セットを確認してください 1-2
 - 1-2 各部の名前とはたらき 1-3
 - 1-3 Web Caster FT5000 アクセスポイントを
接続するための準備 1-7

1-1 セットを確認してください

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

● 構成品

Web Caster FT5000
アクセスポイント

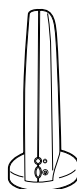


WBC FT5000-AP

Web Caster FT5000 ステーション
(お買い上げのセットにより、どちらかが同梱されています。)

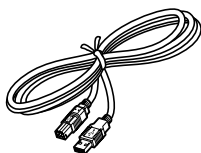


WBC FT5000-STC



WBC FT5000-STU

USB ケーブル

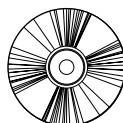


(WBC FT5000-STC には 1 本、WBC FT5000-STU には 2 本同梱されています。)

取扱説明書(本書)



CD-ROM 「Web
Caster FT5000
専用 CD-ROM」



10BASE-T ケーブル
(ストレート)



WBC FT5000-AP 保証書

WBC FT5000-STC 保証書または WBC FT5000-STU 保証書
(お買い上げのセットにより、どちらかが同梱されています。)

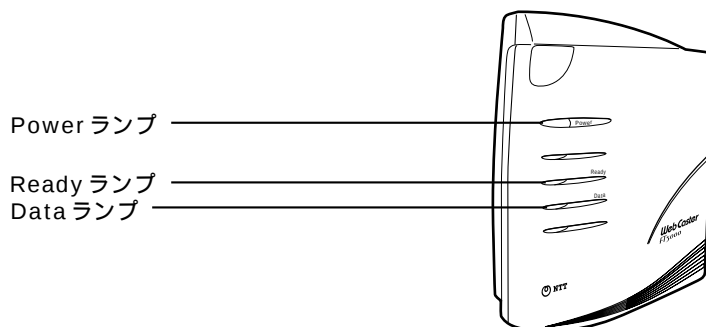
無線注意シール

NTT 通信機器お取扱相談センタシール

1-2 各部の名前とはたらき

Web Caster FT5000 アクセスポイント

● 前面図



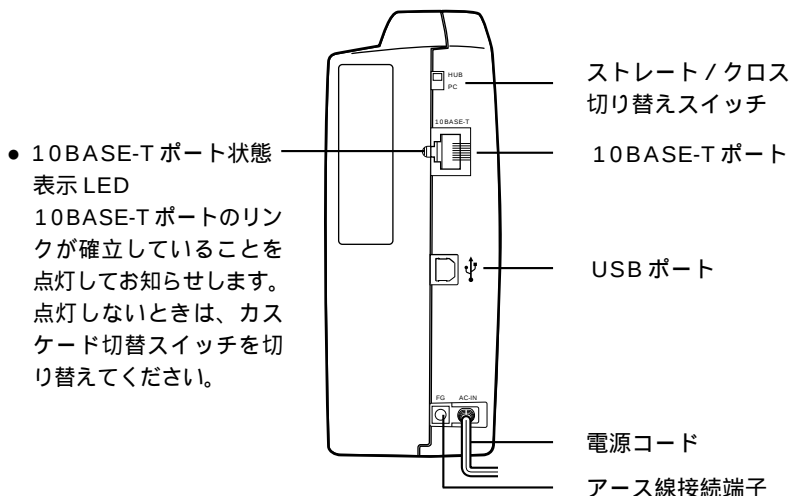
【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方(色)	本装置の状態
Power ランプ	緑(点灯)	電源が入っているとき
Ready ランプ	緑(点灯)	USB ポートにパソコンが接続されているとき (USB ドライバが正しくインストールされているとき)
Data ランプ	緑(点灯)	LAN で接続されたパソコンでデータ送受信中

1

最初にここまでやりましょう

● 背面図



ストレート/クロス切り替えスイッチ
10BASE-T ポートに接続する機器（ADSL モデムおよび無線 HUB モードでの上位ハブ）により切り替えます。（P2-26、4-27）
切り替えるときは、細く硬いもの（つまようじの先など）を使ってください。

10BASE-T ポート
ADSL モデム接続、または無線 HUB モードでの上位ハブとの接続に使用します。

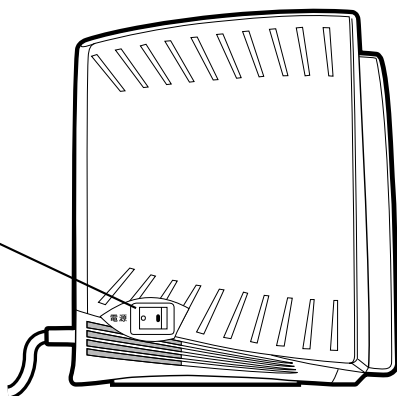
USB ポート
添付の USB ケーブルを使って、パソコンの USB ポートに接続します。

電源コード
AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。

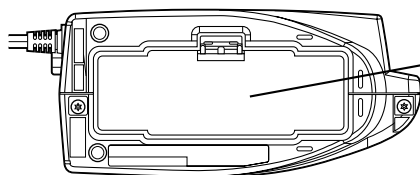
アース線接続端子
アース線を取り付ける端子です（アース線は添付されていません）。

● 側面図

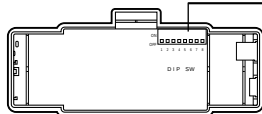
電源スイッチ
電源の入／切を切り替えるスイッチ
です。電源を入れるときは「I」側
を押します。



● 底面図



ディップスイッチカバー
ディップスイッチを設定する
ときはこのカバーを外します。



<ディップスイッチカバー内部>

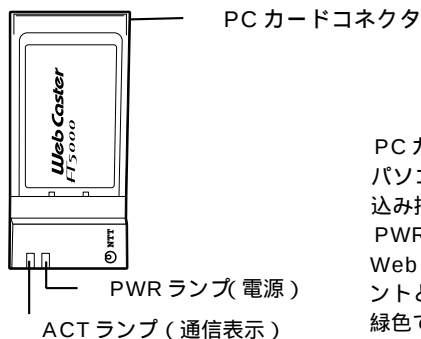
ディップスイッチ
特別な設定をするときに使用し
ます。(➡P6-4)

1

最初にここまでやりましょう

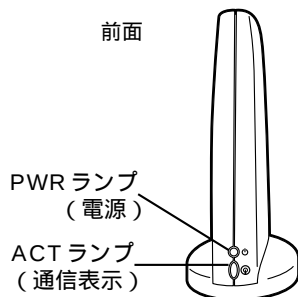
Web Caster FT5000 ステーション

WBC FT5000-STC

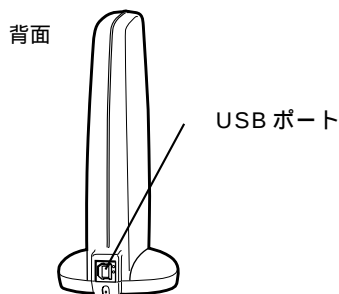


PC カードコネクタ
パソコンの PC カードスロットに差し込み接続します。
PWR ランプ(電源)
Web Caster FT5000 アクセスポイントと通信可能状態になっているとき緑色で点灯します。
ACT ランプ(通信表示)
データ通信中に緑色で点滅します。

WBC FT5000-STU



PWR ランプ(電源)
接続されたパソコンに WBC FT5000-STU の USB ドライバがインストールされて使用可能状態になっているとき緑色で点灯します。
ACT ランプ(通信表示)
データ通信中に緑色で点滅します。



USB ポート
添付の USB ケーブルを使って、パソコンの USB ポートに接続します。

お願い

- PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

Web Caster FT5000 アクセス ポイントを接続するための準備

Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れる

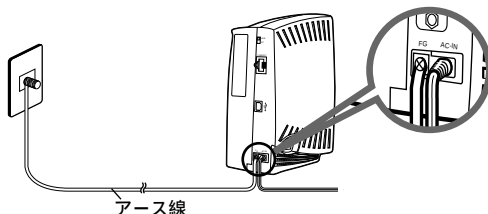
アース線を接続して電源コードを電源コンセントに接続し、Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源スイッチを入れます。

1

アース線接続端子を壁のアース端子に接続する

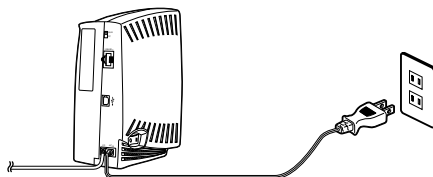
アース線は添付されていませんので、別途購入してください。

アース線は漏電や落雷などが起こった場合に、人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。



2

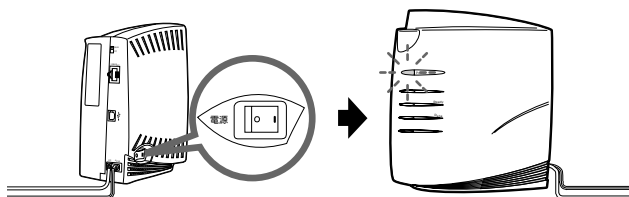
電源コードを壁の電源コンセントに接続する



3

電源スイッチを入れる（「I」側を押す）

しばらくして（Power ランプ、Ready ランプ、Data ランプが点滅したあと）Power ランプが緑色に点灯します。



1

最初にここまでやりましょう

お願い

- 電源を切ると、Web Caster FT5000 ステーションに接続したパソコンでの通信ができなくなります。

2

インターネットをしましょう

インターネットやLANをご利用になる前に、この章をお読みになり、Web Caster FT5000 とパソコンを接続してください。最初にどのポートに接続するかを確認してください。接続するポートごとに、ドライバのインストールからLANの設定まで、パソコンを接続するときに必ず行わなければならない設定について説明しています。

2

- 2-1 パソコンと接続するポートを確認する2-2
- 2-2 Web Caster FT5000 ステーションに
パソコンを接続する2-7
- 2-3 Web Caster FT5000 アクセスポイントの
USB ポートにパソコンを接続する ...2-18
- 2-4 インターネットの接続設定をする2-23
- 2-5 インターネットに接続する2-31

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

2-1 パソコンと接続するポートを確認する

お使いのパソコンに搭載されているポートの種類ごとに、接続のしかたを確認しましょう。ここでは確認するだけで、パソコンと Web Caster FT5000 は接続しないでください。

ポートの種類についてよくわからない方は、お使いのパソコンのポートと図をよく見比べて接続するポートを確認してください。

- 接続ポートを確認する前に (Web Caster FT5000 が対応している OS)
お使いのパソコンが Web Caster FT5000 をご利用になれる環境になっているか確認してください。Web Caster FT5000 は以下の OS でのみご利用になれます。

- ・ Windows® Me 日本語版
- ・ Windows® 98 日本語版
- ・ Windows® 2000 日本語版

Web Caster FT5000 が対応している OS をご利用の場合でも、お使いのパソコンの環境によっては、必要なネットワークコンポーネント (TCP/IP) がインストールされていない場合があります。必要なネットワークコンポーネントがインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合は、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してインストールしてください。

お願い

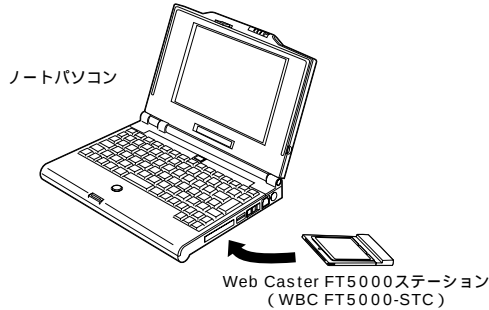
- Windows® Me / 98 をご利用の場合、同じパソコンに複数のステーションや USB ポートを接続して同時に使用することはできません。

■ Web Caster FT5000 アクセスポイントを接続する前に

Web Caster FT5000 アクセスポイントを接続する前に次のことを確認しましょう。

- 1 ADSL (PPPoE) モデムと回線は正しく接続されていますか？
接続の方法や確認は、ADSL (PPPoE) モデムの取扱説明書を参照してください。
- 2 ADSL 接続事業者およびプロバイダ会社とのインターネット接続契約はお済みですか？
 - ・ Web Caster FT5000 をお使いになる前に、ADSL 接続事業者およびプロバイダ会社との契約を済ませておいてください。
 - ・ Web Caster FT5000 の接続および設定には、下記のものがが必要です。
ADSL (PPPoE) モデム (10BASE-T ポートがある ADSL モデム) USB ポートの ADSL モデムには、接続できません。
IP アドレスなどの設定情報
ADSL (PPPoE) 接続のための接続事業者からのユーザ ID、プロバイダからのパスワードなどの接続情報
 - ・ また、事前に通信回線が開通していることをご確認ください。

■ PC カードタイプ Web Caster FT5000 ステーションを使用する



PC カードスロットがあるパソコンには、Web Caster FT5000 ステーション (WBC FT5000-STC) を取り付けることができます。ここではまだ接続しないでください。以下の順で設定を行ってください。

「2-2 Web Caster FT5000 ステーションにパソコンを接続する」(☞P2-7)

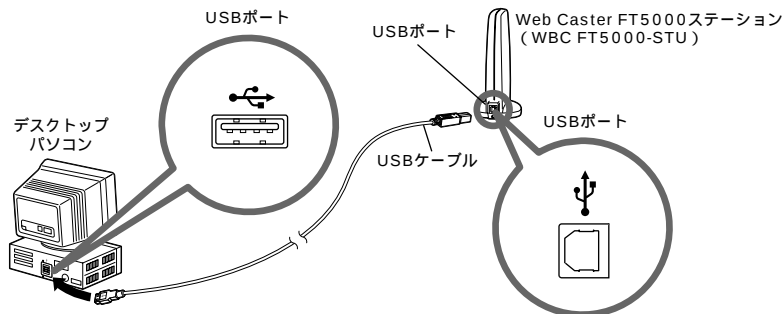


「2-4 インターネットの接続設定をする」(☞P2-23)

お願い

- WBC FT5000-STC をパソコンに取り付けるためには、32 ビット PC カードドライバが正常にインストールされている必要があります。
- WBC FT5000-STC はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能等により給電が停止した場合、通信を行う前にカードを差し直す必要があります。あらかじめサスペンド機能を無効にご使用いただくことをお勧めします。
- Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと Web Caster FT5000 ステーションのドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、Web Caster FT5000 導入ウィザードの設定を行ってください。(☞P2-16)

■ USB タイプ Web Caster FT5000 ステーションを使用する



USBポートがあるパソコンには、Web Caster FT5000 ステーション（WBC FT5000-STU）を取りつけることができます。ここではまだ接続しないでください。以下の順で設定を行ってください。

Web Caster FT5000 ステーション（WBC FT5000-STU）に接続する場合

「2-2 Web Caster FT5000 ステーションにパソコンを接続する」(P2-7)

お願い

- WBC FT5000-STU はパソコンからの給電のみで動作します。使用する USB ポートの給電能力が 500 mA を保証しているパソコンまたは USB ハブをご使用ください。
- スタンバイやサスペンド機能は使用しないでください。
WBC FT5000-STU を接続したままパソコンをスタンバイ / サスペンド状態にすると、お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。このような場合は、パソコンのスタンバイやサスペンド機能を無効にしてご使用ください。
- Web Caster FT5000 ステーションを複数接続しないでください。
Web Caster FT5000 ステーション（WBC FT5000-STC）/（WBC FT5000-STU）を同じパソコンに複数同時に接続することはできません。また、他のネットワークデバイス（USB-LAN ポート、10BASE-T ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、使用するネットワークデバイスは必ず 1 つのみにしてください。
- Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと Web Caster FT5000 ステーションのドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、Web Caster FT5000 導入ウィザードの設定を行ってください。(P2-16)
- デバイスマネージャの [電源の管理] タブの設定は変更しないでください。
Windows® のデバイスマネージャで WBC FT5000-STU のプロパティを開くと、[電源の管理] タブが表示されることがありますが、[電源の管理] タブ内の設定は初期状態から変更しないでください。変更するとパソコンの動作が不安定になる場合があります。もし、誤って変更してしまった場合は再度 [電源の管理] タブを表示して、初期状態に戻すか、ドライバアンインストーラを起動して WBC FT5000-STU ドライバをアンインストールし、Web Caster FT5000 導入ウィザードから再インストールを行ってください。

[電源の管理] タブの初期状態

■ Windows® 98

節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る	有効
コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う	無効

■ Windows® Me

節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする	有効
コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う	無効

■ Windows® 2000

電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする	有効
このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができる	無効

- ステーションマネージャやアクセスマネージャ起動中に USB ケーブルを抜き差しするとパソコン動作が不安定になる場合があります。

ステーションマネージャやアクセスマネージャ起動中は、USB ケーブルの抜き差しをしないでください。お使いのパソコン環境によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ケーブルの抜き差しを行う場合は、ステーションマネージャやアクセスマネージャをパソコンのタスクトレイから終了した後に行うか、パソコンの電源を切ってから行ってください。

- WBC FT5000-STU では装置ごとにハードウェアウィザードが起動します。

WBC FT5000-STU は、装置ごとに固有のシリアル番号を保持しているため、Windows® はそれぞれを別個のデバイスとして検出します。

例えば、2 台以上の WBC FT5000-STU をお持ちの場合、1 台目の WBC FT5000-STU を使って正しくデバイスドライバをインストールしたパソコンに別の 2 台目の WBC FT5000-STU を接続すると、新たに Windows® のハードウェアウィザードが起動し、別のデバイスドライバのインストールを始めます。ハードウェアウィザード画面の指示に従ってインストール操作を進めることで 2 台目の WBC FT5000-STU もネットワークデバイスとしてインストールすることもできます。ただし、ネットワークデバイスのプロパティ情報（TCP/IP プロトコルの設定等）を変更しているお客様は、プロパティ情報を再設定する必要がありますのでご注意ください。

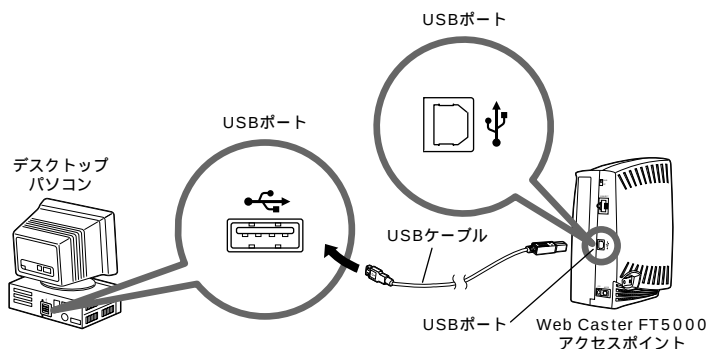
複数の WBC FT5000-STU をお持ちの場合は、パソコンごとに使用する WBC FT5000-STU を決めてお使いいただくことをお勧めします。

正常に動作しない場合の対策

1 台のパソコンに多数の WBC FT5000-STU を組み込んだり、2 台目以降の WBC FT5000-STU インストール時にハードウェアウィザードの操作を誤ると、正常に動作しない場合があります。

その場合は、イーージーアシスタントの「ドライバのアンインストール」を起動して、いったん WBC FT5000-STU ドライバをアンインストールしてから、もう一度イーージーアシスタントの「Web Caster FT5000 導入ウィザード」を起動して WBC FT5000-STU のインストールを行ってください（アンインストールでは、複数の WBC FT5000-STU の設定をすべて削除します）。

■ Web Caster FT5000 アクセスポイントのUSBポートを使用する



お使いのパソコンにUSBポートがある場合は、Web Caster FT5000 アクセスポイントのUSBポートに、添付品のUSBケーブルで接続することができます。以下の手順で設定を行ってください。

Web Caster FT5000 アクセスポイントに接続する場合

「2-3 Web Caster FT5000 アクセスポイントのUSBポートにパソコンを接続する」(☞P2-18)



「2-4 インターネットの接続設定をする」(☞P2-23)

お願い

- USB接続でご使用いただく場合、ご使用になるパソコンによっては、スタンバイやサスペンド機能が使用できない場合があります。

あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

- Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LANカード機能を停止させないとWeb Caster FT5000 アクセスポイントのドライバが正しくインストールできない場合があります。LANカード機能を停止させてから、Web Caster FT5000 導入ウィザードの設定を行ってください。(☞P2-16)

Web Caster FT5000 ステーションに パソコンを接続する

Web Caster FT5000 ステーション (WBC FT5000-STC) / (WBC FT5000-STU) にパソコンを接続するときは、ドライバのインストール → パソコンの接続 →

LAN の設定の順で設定を行っていきます。これらは、すべてイージーアシスタントの [Web Caster FT5000 導入ウィザード] で行います。まず最初に、お使いのパソコンにイージーアシスタントをインストールしてください。

お願い

- Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと Web Caster FT5000 ステーションのドライバが正しくインストールできない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、Web Caster FT5000 導入ウィザードの設定を行ってください。(☞P2-16)
- Web Caster FT5000 ステーションを増設するときは、それぞれに P2-10 ~ P2-14 の設定を行ってください。
- ユーティリティの指示があるまで Web Caster FT5000 ステーションをパソコンに接続しないでください。

■ イージーアシスタントをインストールする

1 Windows® Me/Windows® 98/Windows® 2000 を起動する

2 添付の CD-ROM 「Web Caster FT5000 専用 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする
メニュー画面が表示されます。
メニューが表示されないときは
(☞P2-9)

ユーティリティや電子マニュアルのメニュー画面が表示されます。

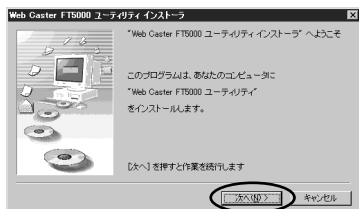
3 [イージーアシスタントのインストール] をクリックする



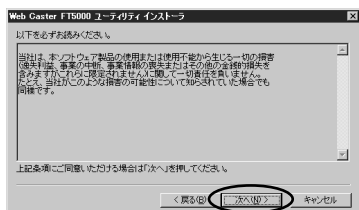
4 [次へ] をクリックする



5 [次へ]をクリックする

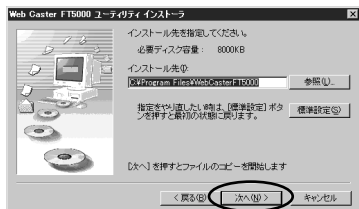


6 画面の同意書を読み、同意できる場合は[次へ]をクリックする



7 表示されたインストール先ヘインストールする場合は、[次へ]をクリックする

インストール先を変更する場合は、[参照]をクリックして変更してください。



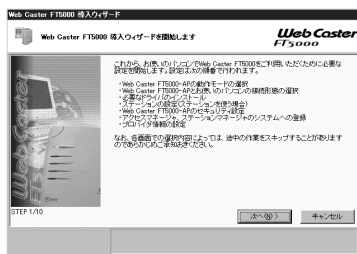
8 「フォルダを作成しますか？」と記載された画面が表示された場合は、[はい]をクリックする

9 [README の表示]にチェックが入っていることを確認し、[完了]をクリックする



10 READMEをよく読んで、[README]画面を閉じる インストールが完了し、Web Caster FT5000 導入ウィザードが起動します。

11 続けてWeb Caster FT5000 導入ウィザードで LAN の設定を行う



続けて「Web Caster FT5000 導入ウィザードで設定する (ステップ2-10)」の設定を行ってください。
(P2-10)

❓ イージーアシスタントを起動するには

イージーアシスタントを終了させた後に、再度イージーアシスタントを起動するときは、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] — [Web Caster FT5000 ユーティリティ] — [Web Caster FT5000 イージーアシスタント] をクリックします。



お知らせ

- 添付の CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。

Windows® の [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する

名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥Menu.exe と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q:¥Menu.exe)

- Web Caster FT5000 イージーアシスタントをインストールすると、インターネット接続や Web Caster FT5000 の設定に必要な以下のユーティリティが自動的にインストールされます。
 - ・ Web Caster FT5000 イージーアシスタント
 - ・ Web Caster FT5000 アクセスマネージャ
 - ・ Web Caster FT5000 ステーションマネージャ (ステーションをインストールした場合のみ)
 - ・ Web Caster FT5000 アクセスポイントマネージャ

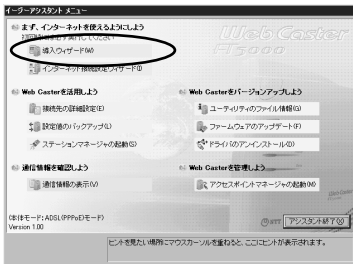
2

インターネットをしましょう

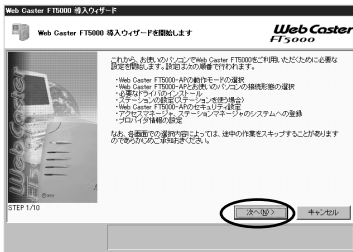
■ Web Caster FT5000 導入ウィザードで設定する（ステーション）

1 Web Caster FT5000 導入ウィザードを起動する

初めてイージーアシスタントをインストールしたとき以外は、イージーアシスタントを起動し、メニュー画面で[導入ウィザード]ボタンをクリックしてください。

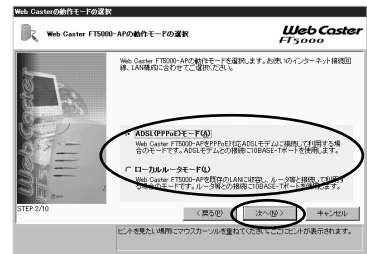


2 [次へ]をクリックする



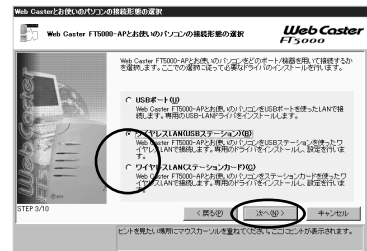
3 Web Caster FT5000 の動作モードを選択して、[次へ]をクリックする

フレッツ・ADSLなどのADSL（PPPoE）接続でADSLモデムと接続する場合は[ADSL（PPPoE）モード]を、ルータタイプのADSLモデムと接続する場合は[ローカルルータモード]を選択します。

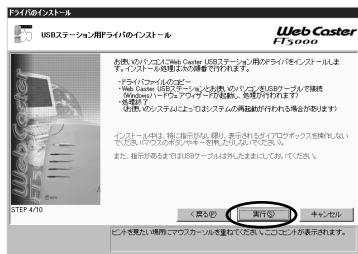


4 [ワイヤレス LAN（USBステーション）]または[ワイヤレス LAN（ステーションカード）]のどちらかをチェックして、[次へ]をクリックする

WBC FT5000-STUをご利用の場合は[ワイヤレス LAN（USBステーション）] WBC FT5000-STCをご利用の場合は[ワイヤレス LAN（ステーションカード）]をクリックしてください。

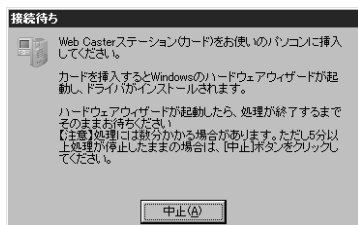


5 [実行]をクリックする

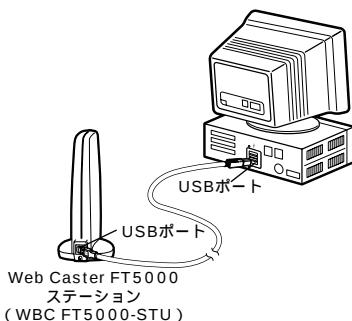


6 次の画面が表示されたら、Web Caster FT5000 ステーションをパソコンに接続 (WBC FT5000-STU) または取り付け (WBC FT5000-STC) する

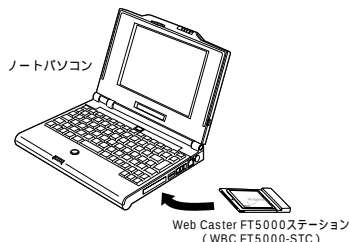
- 画面はWBC FT5000-STCの場合です



- WBC FT5000-STUを接続する
WBC FT5000-STUのUSBポートとパソコンのUSBポートを添付のUSBケーブルで接続する
コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

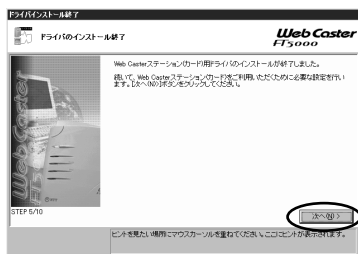


- WBC FT5000-STCを取り付ける
パソコンのカードスロットにWBC FT5000-STCを取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。



- ドライバが自動的にインストールされます。
ドライバをアンインストールしたいときは(P2-15)を参照してください。

7 [次へ]をクリックする



- 8 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源をいったん切ったあと、再び電源を入れるしばらくして、(Power ランプ、Ready ランプ、Data ランプが交互に点灯したあと) Power ランプが緑色に点灯します。

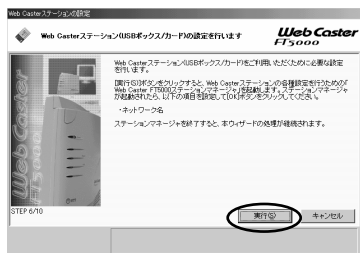
(次ページに続く)

2

インターネットをしましょう

9

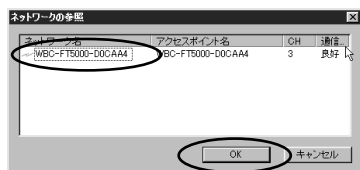
Web Caster FT5000 アクセスポイントが立ち上がったあとと[実行]をクリックする



Web Caster FT5000 アクセスポイントを検索します。(ネットワークの参照といいます。)

10

接続する Web Caster FT5000 アクセスポイントのネットワーク名を選択して[OK]をクリックする



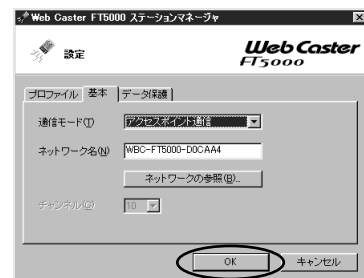
お知らせ

- 工場出荷時のネットワーク名は、「WBC-FT5000-xxxxxx」(xxxxxxはWeb Caster FT5000 アクセスポイントの背面に記載されている10BASE-TのMACアドレス下6桁)です。

11

[OK]をクリックする

[通信モード]は[アクセスポイント通信]の設定のままにしてください。ステーションマネージャの設定が終了します。



12

[次へ]をクリックする



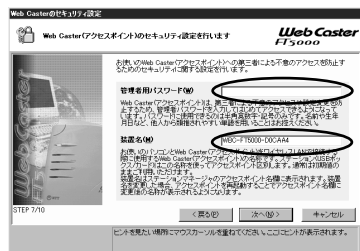
お願い

- 「Web Caster に接続できません。」という画面が表示された場合は、P2-15「(?)こんなときは」を参照してください。

13 LAN の設定を入力する

〔管理者用パスワード〕に Web Caster FT5000 アクセスポイントの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の英数字半角 64 文字まで入力できます。

〔装置名〕には、Web Caster FT5000 アクセスポイントの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

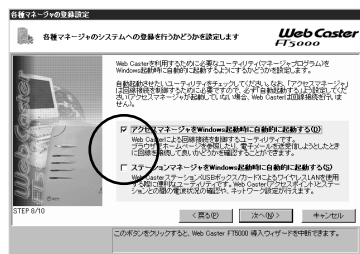


Web Caster FT5000 アクセスポイントに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

14 〔次へ〕をクリックする

15 パソコンを起動したときに自動起動するユーティリティを設定する

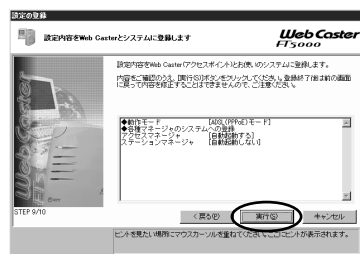
〔アクセスマネージャを Windows 起動時に自動的に起動する〕がチェックされていることを確認します。ステーションマネージャを自動的に起動するときは、〔ステーションマネージャを Windows 起動時に自動的に起動する〕をチェックします。



16 〔次へ〕をクリックする

17 設定内容を確認し、〔実行〕をクリックする

設定内容を Web Caster FT5000 アクセスポイントに登録します。



パスワード入力画面が表示されたときは、設定済みの管理者用パスワードを入力して〔OK〕をクリックします。

18 〔設定終了〕をクリックする



設定の登録が終了し、イーージーアシスタントのメニュー画面に戻ります。初めてイーージーアシスタントをインストールしたときは、〔接続設定〕をクリックすると、自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。

- ・ ADSL (PPPoE モード)
→ P2-23 の手順 2 に進みます。
- ・ ローカルルータモード
→ P2-27 の手順 3 に進みます。

(次ページに続く)

19 続けてインターネット接続の設定を行う

P2-23 に進みます。



お知らせ

- 初めてイージーアシスタントをインストールしたとき以外で Web Caster FT5000 導入ウィザードを起動するときは、イージーアシスタントを起動し、メニュー画面で [Web Caster FT5000 導入ウィザード] ボタンをクリックしてください。
- 管理者用パスワードは、Web Caster FT5000 アクセスポイントをアクセスポイントマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード _____

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。

忘れた場合は、ディップスイッチで Web Caster FT5000 アクセスポイントを購入時の状態に戻して設定を消去してください。(P5-5)

● WBC FT5000-STC の取り扱いについて

取り付けるとき

- ・ WBC FT5000-STC のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- ・ コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

取り外すとき

- ・ WBC FT5000-STC を取り外すときは、以下の操作で PC カードを取り外せる状態にしてから取り外してください。

タスクトレイの PC カードアイコンを左クリックする

[WBC FT5000-STC の停止] をクリックする (Windows® 98 の場合は

[WBC FT5000-STC の中止] をクリックする)

「 WBC FT5000-STC 」は安全に取り外すことができます。」が表示されたら、[OK] をクリックする

WBC FT5000-STC を取り外す

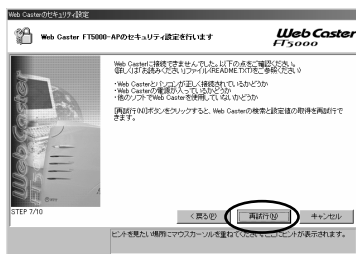


お願い

- WBC FT5000-STC の取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順に従って取り付けてください。
- イージーアシスタントが起動しないなどの理由で、手動で Web Caster FT5000 をセットアップする場合は、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「4 ドライバの手動インストール」を参照してください。

② こんなときは

次の画面が表示された場合は、～を確認して[再試行]をクリックしてください。
パソコンのタスクトレイに「アクセスマネージャ」のアイコンが表示されている場合は、～の操作の前に、「アクセスマネージャ」のアイコンを右クリックし、[終了]をクリックして「アクセスマネージャ」を終了させてから行ってください。



Windows® Me/98 の場合

- [スタート] [ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックする
- “ winipcfg ” を入力して [OK] をクリックする
- Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウの ▼ をクリックして “ WBC FT5000-STU ” を選択する
- [書き換え (N)] をクリックする
- IP アドレスが “ 192.168.0. × × × ” になることを確認する
- [OK] をクリックする

手順 は WBC FT5000-STU の場合です。

WBC FT5000-STC のときは “ WBC FT5000-STC ” を選択してください。

② Web Caster FT5000 ステーションのドライバをアンインストールするには

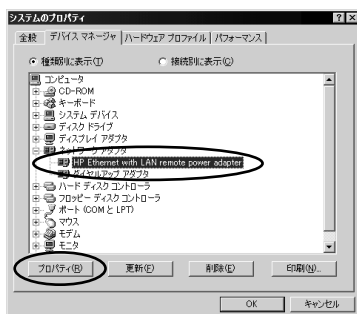
- イーザーアシスタントを起動する
- [ドライバのアンインストール] をクリックする
- 画面の指示に従ってイーザーアシスタントを終了する
- アンインストールするドライバを選択する
- 画面の指示に従ってアンインストールを行う

② LAN カード機能を停止させるには

Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと USB-LAN や Web Caster FT5000 ステーションが使用できない場合があります。以下の操作で LAN カード機能を停止させてから、Web Caster FT5000 導入ウィザードの設定を行ってください。

Windows® Me/98 の場合

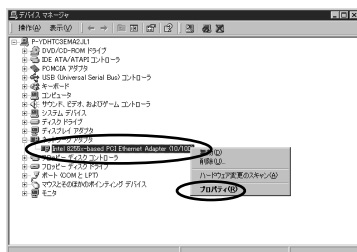
- [スタート] ボタン—[設定]—[コントロールパネル] をクリックする
- [システム] アイコンをダブルクリックする
- [デバイスマネージャ] タブをクリックする
- [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- 不要なネットワークアダプタを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする



- [全般] タブの [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックして [OK] をクリックする

Windows® 2000 の場合

- [スタート] ボタン—[設定]—[コントロールパネル] をクリックする
- [システム] アイコンをダブルクリックする
- [ハードウェア] タブをクリックする
- [デバイスマネージャ] をクリックする
- [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックする



- [無効] を選択する
- [はい] をクリックする

■ Web Caster FT5000 アクセスポイントとの通信状態を確認する（ステーションマネージャ）

ステーションマネージャを起動すると、Web Caster FT5000 アクセスポイントと Web Caster FT5000 ステーションの通信状態を確認することができます。

1 タスクトレイのステーションマネージャのアイコンを右クリックする



2 [状態] をクリックする
Web Caster FT5000 アクセスポイントと Web Caster FT5000 ステーションの通信状態が表示されます。

3 通信状態を確認したら、[閉じる] をクリックする



お知らせ

- Web Caster FT5000 は、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能として WEP と MAC アドレスセキュリティを搭載しています。各設定方法の詳細については、「4-1 LAN のデータ通信機能」を参照してください。（➡P4-2）

・ WEP とは

WEP (Wired Equivalent Privacy) は、ユーザが指定した任意の文字列（キー）からデータの暗号化を行う機能です。これにより、Web Caster FT5000 アクセスポイントとステーションとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護することができます。

・ MAC アドレスセキュリティ機能とは

お使いの Web Caster FT5000 アクセスポイントが登録されたステーションとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、登録されていない他のステーションから LAN やインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

2

インターネットをしましょう

Web Caster FT5000 アクセスポイントの USB ポートにパソコンを接続する

Web Caster FT5000 アクセスポイントのUSB ポートにパソコンを接続するときは、
ドライバのインストール→ パソコンの接続→ LAN の設定の順で設定を行っていきます。
これらは、[Web Caster FT5000 導入ウィザード]で行います。まず最初に、
お使いのパソコンにイーザーアシスタントをインストールして、Web Caster FT5000
導入ウィザードを起動してください。

お願い

- Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと USB-LAN ドライバが正しくインストールされない場合があります。LAN カード機能を停止させてから、Web Caster FT5000 導入ウィザードの設定を行ってください。
(☞P2-16)
- USB ケーブルは、ユーティリティの指示があるまで接続しないでください。

■ イーザーアシスタントをインストールする

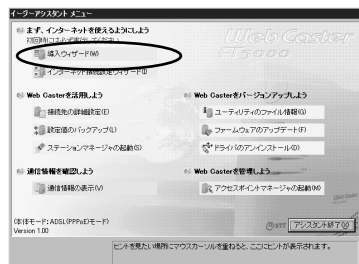
イーザーアシスタントのインストール方法は、「2-2 Web Caster FT5000 ステーションにパソコンを接続する」を参照してください。(☞P2-7)

イーザーアシスタントをインストールし、Web Caster FT5000 導入ウィザードが起動したら、下記の「Web Caster FT5000 導入ウィザードで設定する (USB ポート)」を行ってください。

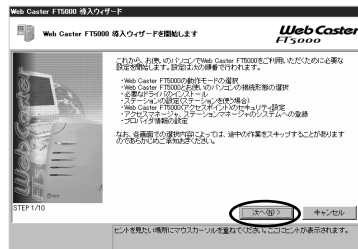
■ Web Caster FT5000 導入ウィザードで設定する (USB ポート)

1 Web Caster FT5000 導入 ウィザードを起動する

初めてイーザーアシスタントをインストールしたとき以外は、イーザーアシスタントを起動しメニュー画面で [導入ウィザード] ボタンをクリックしてください。

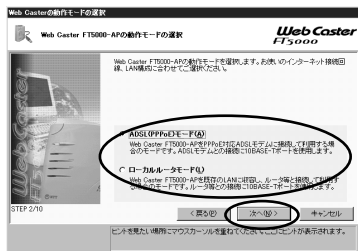


2 [次へ] をクリックする

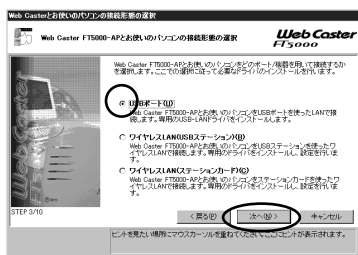


3 Web Caster FT5000の動作モードを選択して、[次へ]をクリックする

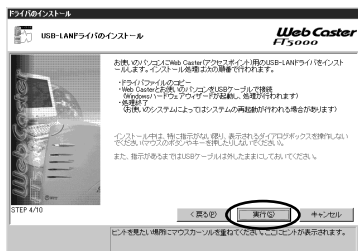
フレッツ・ADSLなどのADSL (PPPoE) 接続でモデムと接続する場合は[ADSL (PPPoE) モード]を、ルータタイプのADSLモデムと接続する場合は[ローカルルータモード]を選択します。



4 [USBポート]をクリックし、[次へ]をクリックする

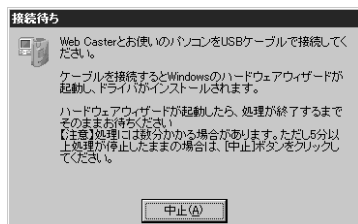


5 次の画面が表示されたら、[実行]をクリックする

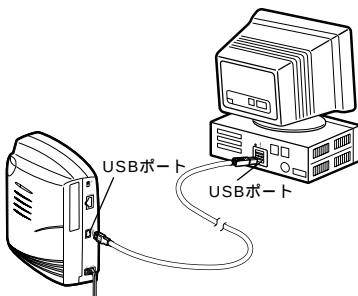


6 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源が入っていることを確認する

7 次の画面が表示されたら、パソコンを添付のUSBケーブルでWeb Caster FT5000 アクセスポイントのUSBポートに接続する



コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。



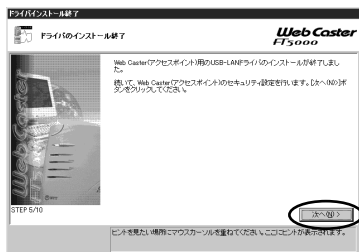
Web Caster FT5000
アクセスポイント

ドライバが自動的にインストールされます。

2

インターネットをしましょう

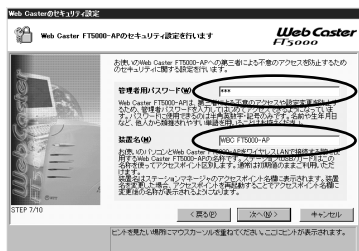
8 [次へ]をクリックする



9 LAN の設定を入力する

[管理者用パスワード] に Web Caster FT5000 アクセスポイントの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の英数字半角 64 文字まで入力できます。

[装置名] には、Web Caster FT5000 アクセスポイントの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。



● お願い ●

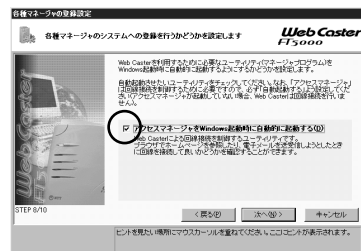
- 管理者用パスワードは、あとで必要になります。忘れないようお願いします。

Web Caster FT5000 アクセスポイントに「管理者用パスワード」が登録済みの場合は、この画面はスキップされます。

10 [次へ]をクリックする

11 パソコンを起動したときにアクセスマネージャが自動起動するかどうかを設定する

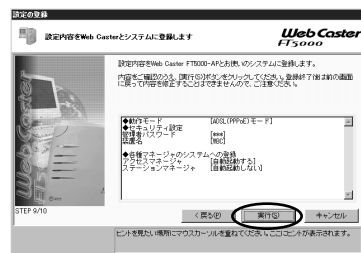
[アクセスマネージャを Windows 起動時に自動的に起動する] がチェックされていることを確認します。



12 [次へ]をクリックする

13 設定内容を確認し、[実行] をクリックする

設定内容を Web Caster FT5000 アクセスポイントに登録します。



14 「設定終了」をクリックする



設定の登録が終了し、イージーアシスタントのメニュー画面に戻ります。初めてイージーアシスタントをインストールしたときは、[接続設定] をクリックすると、自動的にインターネット接続ウィザードが起動します。

- ・ ADSL (PPPoE モード)
→ P2-23 の手順 2 に進みます。
- ・ ローカルルータモード
→ P2-27 の手順 3 に進みます。

15 続けてインターネット接続の設定を行う P2-23 に進みます。

2

インターネットをしましょう



お知らせ

- 管理者用パスワードは、Web Caster FT5000 アクセスポイントをアクセスポイントマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード _____

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。

忘れた場合は、ディップスイッチで Web Caster FT5000 アクセスポイントを購入時の状態に戻して設定を消去してください。

(P5-5)

① Web Caster FT5000 アクセスポイントのドライバを アンインストールするには

イージーアシスタントを起動する

[ドライバのアンインストール] をクリックする

画面の指示に従ってイージーアシスタントを終了する

アンインストールするドライバを選択する

画面の指示に従ってアンインストールを行う

2-4 インターネットの接続設定をする

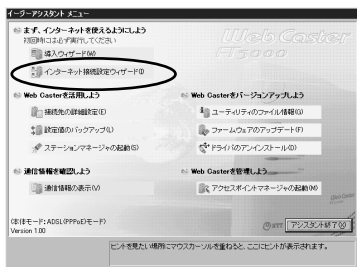
インターネットへの接続の設定は、イージーアシスタントの案内で選択していけば簡単に行うことができます。フレッツ・ADSLなどのADSL（PPPoE）接続でADSLモデムと接続する場合（ADSL（PPPoE）モード）と、ルータタイプのADSLモデムと接続する場合（ローカルルータモード）で設定が異なります。（☞P2-27）

- ADSL（PPPoE）モードの場合（☞ 下記）
- ローカルルータモードの場合（☞P2-27）

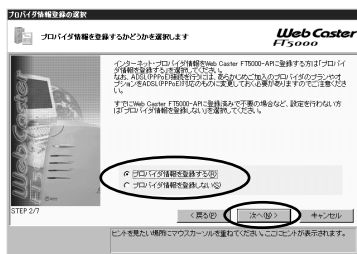
■ ADSL（PPPoEモード）でインターネット接続を設定する

1 [インターネット接続設定ウィザード]を起動する

初めてイージーアシスタントをインストールしたとき以外は、イージーアシスタントを起動し（☞P3-3）、[インターネット接続設定ウィザード]をクリックしてください。

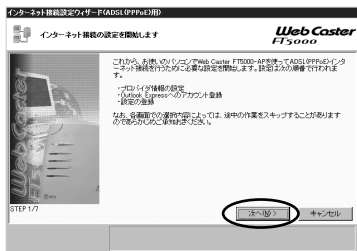


3 プロバイダ情報をWeb Caster FT5000に登録する場合は[プロバイダ情報を登録する]を選択し、[次へ]をクリックする



プロバイダを登録しない場合は、[プロバイダ情報を登録しない]を選択し、手順5へ進みます。

2 [次へ]をクリックする



2

インターネットをしましょう

4

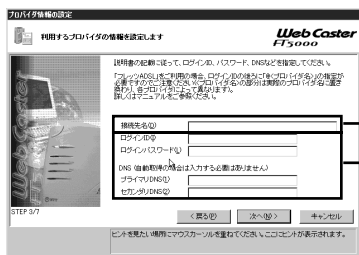
プロバイダに接続するための情報を入力して、「次へ」をクリックする

[接続先名] にプロバイダの名称を任意に入力します。

接続事業者からの情報に従って「ログインID」(ユーザID)を入力します。

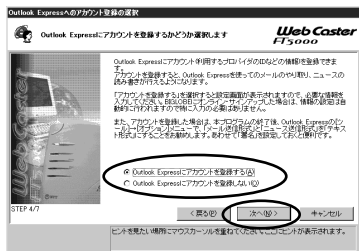
プロバイダからの情報に従って「パスワード」を入力します。

[プライマリDNS] [セカンダリDNS] を半角英数字で入力します。



5

Outlook Express を使用する場合は、[Outlook Express にアカウントを登録する] をクリックし、[次へ] をクリックする



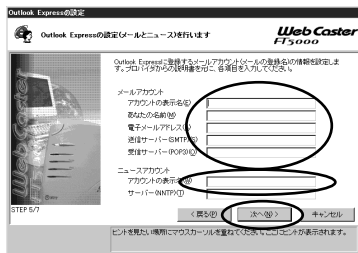
Outlook Express の設定をここではない場合は、[Outlook Express にアカウントを登録しない] をクリックし、手順 7 に進みます。

お願い

● Outlook Express については、Outlook Express の取扱説明書を参照してください。

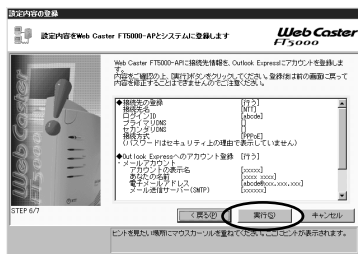
6

メールアカウントとニュースアカウントの情報を入力し、[次へ] をクリックする



7

設定内容を確認し、[実行] をクリックする



Web Caster FT5000 アクセスポイントの設定が自動的に行われ、Web Caster FT5000 アクセスポイントが再起動されます。

8

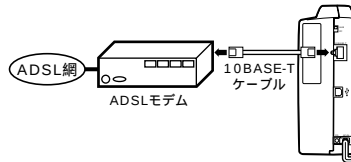
[設定終了] をクリックする
イーージーアシスタントのメニュー画面に戻ります。

9

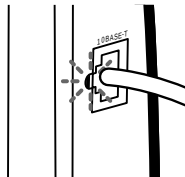
イーージーアシスタントを終了するときは、[アシスタント終了] をクリックする

■ ADSL モデムに接続する

- 1 ADSL モデムが、ADSL 網に正しく接続されていることを確認する
- 2 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源が入っていることを確認する
- 3 Web Caster FT5000 アクセスポイントの 10BASE-T ポートと ADSL モデムを添付の 10BASE-T ケーブル（ストレート）で接続する



- 4 10BASE-T ポート状態表示 LED が点灯していることを確認する
(点灯しない場合は次ページを参照してください。)



2

インターネットをしましょう

① 10BASE-T ポート状態表示 LED が点灯しないときは

10BASE-T ポート状態表示 LED が点灯しないときは、Web Caster FT5000 アクセスポイントと ADSL モデムが正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

10BASE-T ケーブルの接続を確認する

いったん電源を切り、Web Caster FT5000 アクセスポイントの 10BASE-T ポートが ADSL モデムに 10BASE-T ケーブル（ストレート）で正しく接続されているか確認してください。

ストレート/クロス切り替えスイッチを切り替える

電源を切り、Web Caster FT5000 アクセスポイントのストレート/クロス切り替えスイッチを切り替えます。再度電源を入れてください。

これで問題が解決しない場合は、ストレート/クロス切り替えスイッチを戻しておきます。

ADSL モデムが回線と正しく接続されていることを確認する

10BASE-T ポートを搭載したパソコンをお持ちの場合は、ADSL モデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。直接パソコンを接続しても正しく動作しない場合は、ADSL モデムおよび通話回線に問題があります。ご契約の通信事業者にご相談ください。

～ を行っても解決しない場合は、Web Caster FT5000 アクセスポイントを初期化する

Web Caster FT5000 アクセスポイントの設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、「5-2 初期化」(P5-4)を参照してください。

Web Caster FT5000 アクセスポイントの自己診断を行う

「5-3 自己診断」(P5-6)を参照して、Web Caster FT5000 アクセスポイントの自己診断を行ってください。

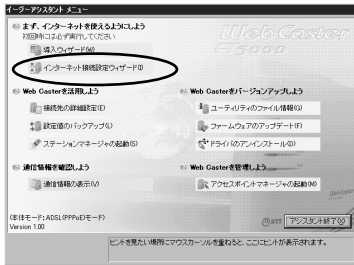
～ を行っても問題が解決しないときは、Web Caster FT5000 アクセスポイントが故障している場合があります。当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

■ ローカルルータモードでインターネット接続を設定する

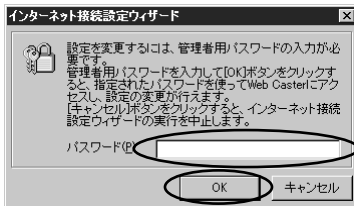
本設定は、ルータ上にある Web Caster FT5000 ステーションに接続したパソコンのうち 1 台が行えば、他のパソコンからの設定は必要ありません。

1 [インターネット接続設定ウィザード] を起動する

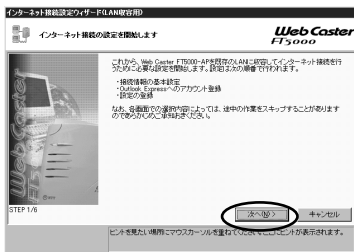
初めてイーザアシスタントをインストールしたとき以外は、イーザアシスタントを起動し(➡P3-3) [インターネット接続設定ウィザード] をクリックしてください。



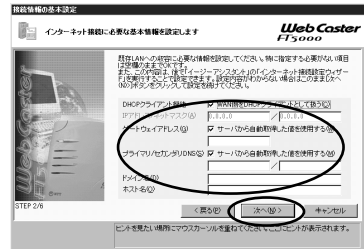
2 Web Caster FT5000 導入ウィザードで設定した管理者用パスワードを入力し、[OK] をクリックする



3 [次へ] をクリックする



4 ブロードバンドインターネット接続に必要な基本設定をする ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。



DHCP クライアント機能

Web Caster FT5000 の WAN 側をブロードバンド通信網の DHCP クライアントとして利用する場合は [WAN 側を DHCP クライアントとして扱う] をチェックします。Web Caster FT5000 の WAN 側に固定の IP アドレスを指定する場合はチェックを外してください。

IP アドレス/ネットマスク

WAN 側に固定 IP アドレスを使用する場合は、Web Caster FT5000 アクセスポイントの WAN 側の IP アドレス、ネットマスクを設定します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

2

インターネットをしましょう

ゲートウェイアドレス

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定の必要がない場合は空欄のままでもかまいません。

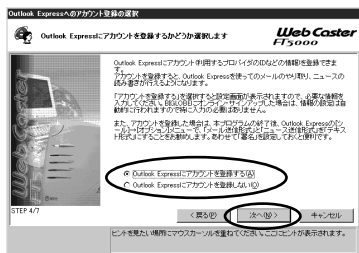
プライマリDNS / セカンダリDNS
Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN側のDNSサーバを設定します。接続網のサーバから自動取得する場合は空欄のままでもかまいません。また、サーバから自動取得された値は入力された値よりも優先して使用されます。

ドメイン名 / ホスト名

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN側のドメイン名、ホスト名を設定します。プロバイダから指定がない場合は空欄のままでもかまいません。

5

Outlook Expressを使用する場合は、[Outlook Express にアカウントを登録する] をクリックし、[次へ] をクリックする



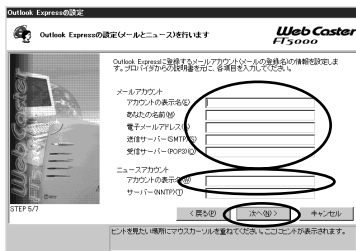
Outlook Express の設定をここではない場合は、[Outlook Express にアカウントを登録しない] をクリックし、手順 7 に進みます。

お願い

- Outlook Express については、Outlook Express の取扱説明書を参照してください。

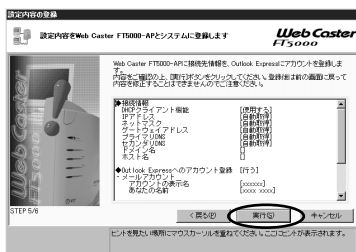
6

メールアカウントとニュースアカウントの情報を入力し、[次へ] をクリックする



7

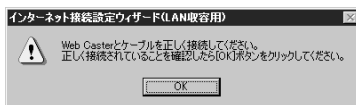
設定内容を確認し、[実行] をクリックする



Web Caster FT5000 アクセスポイントの設定が自動的に行われ、Web Caster FT5000 アクセスポイントが再起動されます。

8

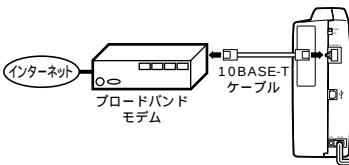
下の画面が表示されたら、Web Caster FT5000 アクセスポイントとブロードバンドモデムを添付の10BASE-T ケーブルで接続する



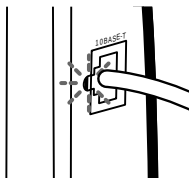
- ブロードバンドモデムに接続する
ブロードバンドモデムが、ブロードバンド通信網に正しく接続されていることを確認する。

Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源が入っていることを確認する。

Web Caster FT5000 アクセスポイントの 10BASE-T ポートとブロードバンドモデムを添付の 10BASE-T ケーブル(ストレート)で接続する。



10BASE-T ポート状態表示 LED が点灯していることを確認します。(点灯しない場合は次ページを参照してください。)

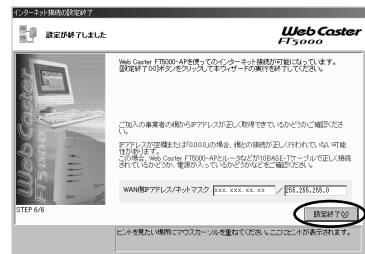


9
10

接続が正しく行われたことを確認して [OK] をクリックする

WAN 側 IP アドレスの欄に IP アドレスが表示されていることを確認し、[設定終了] をクリックする

イージーアシスタントから導入ウィザードを起動した場合は、イージーアシスタントのメニュー画面に戻ります。



WAN 側 IP アドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、次ページの「**?** WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合」をご覧ください。

2

インターネットをしましょう



お知らせ

ルータタイプの ADSL などブラウザを使ってインターネット接続のための設定が必要な場合は、アクセスマネージャを使ってインターネット接続 (P2-31) してから、ブロードバンドモデムの取扱説明書に従って設定してください。

設定後、一時的に WAN 側 IP アドレスが取れなくなって切断される場合があります。アクセスマネージャの [状態] メニューから [IP 再取得] を行って IP アドレスを取り直してください。

② 10BASE-T ポート状態表示LED が点灯しないときは

手順 8 の で 10BASE-T ポート状態表示 LED が点灯しないときは、Web Caster FT5000 アクセスポイントとブロードバンドモデムが正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

10BASE-T ケーブルの接続を確認する

いったん電源を切り、Web Caster FT5000 アクセスポイントの 10BASE-T ポートがブロードバンドモデムに 10BASE-T ケーブル（ストレート）で正しく接続されているか確認してください。

ストレート/クロス切り替えスイッチを切り替える

電源を切り、Web Caster FT5000 アクセスポイントのストレート/クロス切り替えスイッチを切り替えます。再度電源を入れてください。

これで問題が解決しない場合は、ストレート/クロス切り替えスイッチを戻しておきます。

ブロードバンドモデムが回線と正しく接続されていることを確認する

10BASE-T ポートを搭載したパソコンをお持ちの場合は、ブロードバンドモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。直接パソコンを接続しても正しく動作しない場合は、ブロードバンドモデムおよび通話回線に問題があります。ご契約の通信事業者にご相談ください。

～ を行っても解決しない場合は、Web Caster FT5000 アクセスポイントを初期化する

Web Caster FT5000 アクセスポイントの設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、「5-2 初期化」(P5-4) を参照してください。

Web Caster FT5000 アクセスポイントの自己診断を行う

「5-3 自己診断」(P5-6) を参照して、Web Caster FT5000 アクセスポイントの自己診断を行ってください。

～ を行っても問題が解決しないときは、Web Caster FT5000 アクセスポイントが故障している場合があります。当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

③ WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合

WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。

まずはアクセスマネージャのメニュー [状態] で [WAN] タブを表示させ、[詳細] 表示の IP アドレスをご確認ください。

IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 再取得] ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。

[IP 再取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、ブロードバンドモデムがエラー表示していないか、または Web Caster FT5000 アクセスポイントの背面の 10BASE-T ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。

2-5 インターネットに接続する

■ アクセスマネージャで接続状態を確認する

インターネットへの接続 / 切断の操作や回線状態の表示はタスクトレイの「アクセスマネージャ」で行います。

● タスクトレイの「アクセスマネージャ」のアイコン表示



Web Caster FT5000 アクセスポイントとの通信が可能でインターネット接続されていない状態



ADSL (PPPoE) でインターネットと接続中



ローカルルータモードでインターネットと接続中



Web Caster FT5000 アクセスポイントとの通信ができない状態

● アクセスマネージャの使い方

タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする。

ポップアップメニューから、行いたい操作を選択する

- ・ 状態 (接続状態を確認できます)
- ・ ADSL (PPPoE) 接続 (手動で ADSL (PPPoE) インターネットへの接続を行います) またはローカルルータとして接続 (手動でブロードバンドインターネットへの接続を行います)
- ・ 切断 (手動で切断を行います)
- ・ オプションの設定 (オプションの設定画面を表示します) (➡P4-34)
- ・ 接続先の設定 (接続先の設定画面を表示します)
- ・ ログの表示 (Web Caster FT5000 アクセスポイントの通信ログを表示します) (➡P4-12)
- ・ イージーアシスタント (イージーアシスタントを起動します)
- ・ Windows ® 起動時に自動起動する (アクセスマネージャを Windows ® 起動時に自動起動するよう登録または解除します)
- ・ ヘルプ (ヘルプを起動します)
- ・ 終了 (アクセスマネージャを終了します)

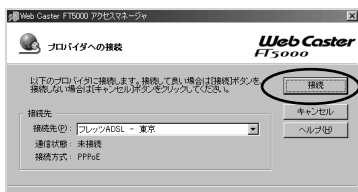
■ フレッツ・ADSLでインターネットに接続する

- 1 タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする

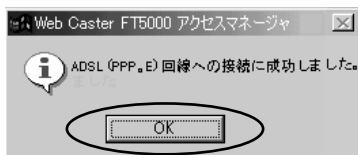


- 2 メニューから[ADSL(PPPoE)接続]をクリックする

- 3 [接続]をクリックする



インターネット接続が開始されます。



- 4 WWWブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

接続中は、インターネットアプリケーションを利用することができます。本商品には、インターネットアプリケーションは添付していません。Windows® に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

- 5 終了するときは、タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする

- 6 [切断]をクリックする

■ ローカルルータモードでインターネットに接続する

- 1 タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする

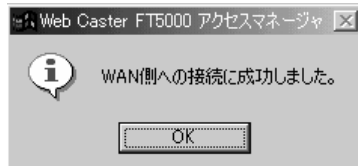


- 2 メニューから[ローカルルータとして接続]をクリックする

- 3 [接続]をクリックする



インターネット接続が開始されます。



- 4 WWWブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

接続中は、インターネットアプリケーションを利用することができます。本商品には、インターネットアプリケーションは添付していません。Windows® に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

5 終了するときは、タスクトレイのアクセスマネージャアイコンを右クリックする

6 [切断] をクリックする



お知らせ

- Windows® Me / 98 / 2000 でご利用の場合には、WWW ブラウザ (Internet Explorer 等) やメールソフトの設定が LAN 接続の設定になっている必要があります。ブラウザやメールソフトを起動したときに、アクセスマネージャの「プロバイダへの接続」が起動せずにダイヤルアップ接続が起動してしまう場合には、ダイヤルアップ接続する設定になっていますので設定を変更してください。設定の変更方法についての詳細は各ソフトウェアの製造メーカー (Microsoft 等) にご確認ください。

以下は Internet Explorer 5 の場合の設定方法の一例です。

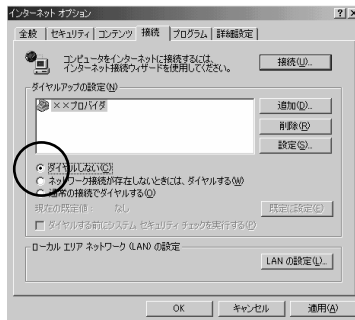
お客様の使用環境 (プロバイダやソフトウェア等) によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動します。

「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。

「接続」タブをクリックします。

ダイヤルアップの設定の欄で、「ダイヤルしない」を接続してください。



また、プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム (プロバイダへの申し込みソフト) はダイヤルアップ接続 (モデムやターミナルアダプタの接続) 専用のものがあります。

その場合 Web Caster FT5000 に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。

プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

2

インターネットをしましょう



お知らせ

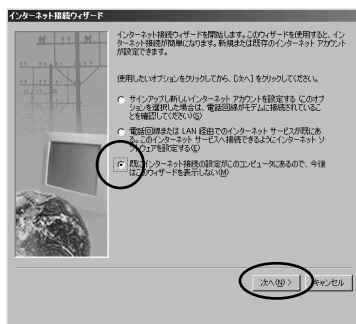
- Windows® 98 をご使用の場合でデスクトップに WWW ブラウザソフト (Internet Explorer) アイコンがないときは、以下の手順で [Internet Explorer] アイコンを作成します。

デスクトップの「インターネットに接続」アイコンをダブルクリックします。

「インターネット接続ウィザード」画面になります。

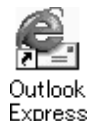


「既にインターネット接続の設定が・・・表示しない」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



[インターネット接続ウィザード] を終了します。

デスクトップに [Internet Explorer] と [Outlook Express] のアイコンが表示されます。



お願い

- タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンが下記の状態の間は、接続したままの状態が続いています。(WWW ブラウザなどのアプリケーションを終了しても自動的に切断されません。) セキュリティの向上のためインターネットを使用していないときは、アイコンを右クリックして [切断] をクリックして忘れずに切断してください。



- 接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られないことがあります。
- USB ポートにパソコンを接続して通信アプリケーションを実行中に、USB ケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、通信アプリケーションとUSB ドライバとの結合をシステムが解放します。引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合は、通信アプリケーションをいったん終了して、正しく接続し直してから再度実行してください。

2

インターネットをしましょう

3

各種ユーティリティを使い こなしましょう

- 3-1 イージーアシスタントの基本操作3-2
- 3-2 イージーアシスタントで設定できること ...3-4
- 3-3 アクセスポイントマネージャで設定する ...3-6
- 3-4 ステーションマネージャで設定する3-12

3

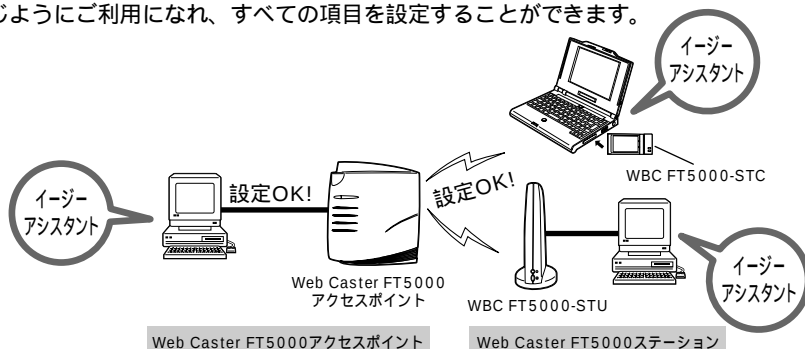
Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

3-1 イージーアシスタントの基本操作

イージーアシスタントは、前章までのパソコンを接続するときに必要なドライバのインストールや Web Caster FT5000 の基本設定の他に接続先や LAN の詳細設定やバージョンアップなどができます。イージーアシスタントを使いこなせば、Web Caster FT5000 をもっと活用できます。

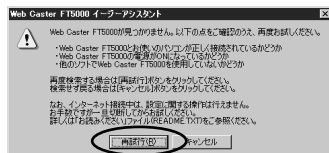
イージーアシスタントの使いかた

ここでは、イージーアシスタントの起動・終了のしかた、基本的な使いかたを説明します。イージーアシスタントは、Web Caster FT5000 アクセスポイントに接続されているパソコンからも、Web Caster FT5000 ステーションに接続されているパソコンからも、同じようにご利用になれ、すべての項目を設定することができます。



お願い

- イージーアシスタントをインストールしていない場合は、以下のページを参照して、インストールを行ってください。
「イージーアシスタントをインストールする」(P2-7)
- 複数のパソコンからイージーアシスタントの設定を行った場合、最後に保存した設定が有効になります。
- イージーアシスタントのメニュー画面で何かボタンを押したとき、右の画面が表示された場合は、～を確認したあと、[再試行]をクリックしてください。



パソコンと Web Caster FT5000 ステーション (WBC FT5000-STC / WBC FT5000-STU) または Web Caster FT5000 アクセスポイントは正しく接続されていますか？

Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源は入っていますか？

イージーバージョンアップなどの Web Caster FT5000 のソフトウェアが起動している場合は終了させてください。

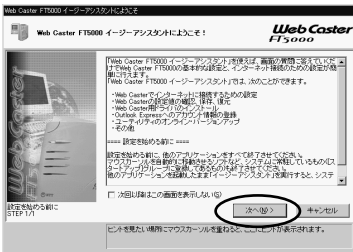
IP アドレスを更新してください。(「? こんなときは」P2-15)

- Web Caster FT5000 アクセスポイントを無線 HUB モードに設定すると、イージーアシスタントやアクセスポイントマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワーク (10BASE-T ポート) から外してください。(「無線 HUB モードを設定する」P4-26) その際、必ずディップスイッチの 3 を [OFF] にして、無線 HUB モードを解除してからアクセスポイントマネージャで設定を変更してください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、
[プログラム] - [Web Caster
FT5000 ユーティリティ]
- [Web Caster FT5000 イー
ジーアシスタント]をクリック
する

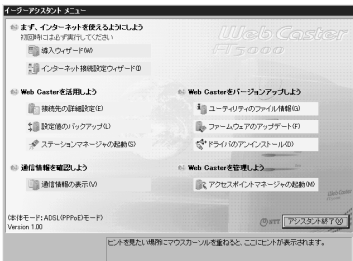
しばらくするとイージーアシスタ
ントが起動します。

2 下記の画面が表示されたときは
[次へ]をクリックする



イージーアシスタントメニュー画面
が表示されます。

3 メニュー画面から設定したい項
目のボタンをクリックする



4 必要な項目を選択・入力する
各項目を設定します。

5 設定が終了したら [OK] をク
リックする

設定内容がWeb Caster FT5000 に
書き込まれ、イージーアシスタントの
メニュー画面に戻ります。

6 イージーアシスタントを終了す
るときは、[アシスタント終了]
をクリックする

7 [はい] をクリックする

お願い

● イージーアシスタントのメニュー画面でい
ずれかのボタンをクリックしたときに
[Web Caster FT5000 が見つかりませ
ん] と表示される場合は、以下の ~ を
確認したあと、[再試行] をクリックして
ください。

Web Caster FT5000 とパソコンが正
しく接続されている

Web Caster FT5000 アクセスポイント
の電源が入っている

イージーバージョンアップなど Web
Caster FT5000 のソフトウェアが起
動している場合は終了させる

3

各種ユーティリティを使いこなしましょう

メインメニュー画面

イージーアシスタントを起動すると、メニュー画面が表示されます。まず最初にこの画面で、設定したい機能のボタンをクリックします。

画面上のボタンの上にマウスカーソルを重ねると、画面右下に説明が表示されます。

まず、インターネットを使えるようにしよう

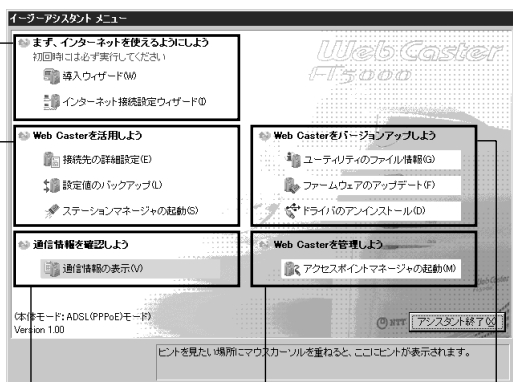
- ・[導入ウィザード](☞P2-10、2-18)
- ・[インターネット接続設定ウィザード](☞P2-23)

Web Caster を活用しよう

- ・[接続先の詳細設定](☞P3-5)
- ・[設定値のバックアップ](☞添付CD-ROM「データ通信詳細ガイド」「2 設定のバックアップ」)
- ・[ステーションマネージャの起動](☞P3-12)

通信情報を確認しよう

- ・[通信情報の表示]



Web Caster を管理しよう

- ・[アクセスポイントマネージャの起動]
アクセスポイントマネージャを起動します。

Web Caster をバージョンアップしよう

- ・[ユーティリティのファイル情報]
- ・[ファームウェアのアップデート](☞添付CD-ROM「データ通信詳細ガイド」「3 バージョンアップ」)
- ・[ドライバのアンインストール](☞P2-15、2-22)

接続先の設定画面

ADSL (PPPoE) 接続の場合、イージーアシスタントのメニュー画面で [接続先の詳細設定] ボタンをクリックすると表示されます。接続先を新規に作成したり、修正することができます。

登録されている接続先(← P2-23)

Web Caster FT5000 接続先の設定

接続先の一覧

次の接続先が登録されています(1):

ADSL(PPPoE) 東京

ヘルプ(H)

閉じる

※通常使用する接続先は太字で表示されています

接続先を新規に登録したり、編集することができます。

- ・ 接続先の新規登録
- ・ 接続先の編集
- ・ 接続先の削除
- ・ 通常使用する接続先に設定

ヘルプ

アクセスポイントマネージャで設定する

アクセスポイントマネージャはWeb Caster FT5000 アクセスポイントの動作モードの変更、パスワードの変更、LAN の設定、無線 LAN の設定などをすることができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにも無線 LAN の設定を行うことをお勧めします。

- 画面は Windows® Me の例です。

■ アクセスポイントマネージャを起動するには

- 次のどちらかの方法で起動します。

イージーアシスタントのメニュー画面から、[アクセスポイントマネージャの起動] をクリックし、管理者用パスワードを入力し、[OK] をクリックする。
[スタート] - [プログラム] - [Web Caster FT5000 ユーティリティ] - [Web Caster FT5000 アクセスポイントマネージャ] をクリックしたあと、管理者用パスワードを入力し、[OK] をクリックする。
アクセスポイントマネージャの設定の詳細については、アクセスポイントマネージャのヘルプを参照してください。

■ Web Caster FT5000 アクセスポイントマネージャ画面

アクセスポイントマネージャを起動すると、この設定画面が表示されます。設定したい機能のボタンなどをクリックします。画面上のボタンの上にマウスのカーソルを重ねると、画面右下に説明が表示されます。

Web Caster FT5000 アクセスポイントとして使うときの基本設定です。

- ・装置名、動作モードの設定
- ・管理者パスワードの変更、時刻の設定
- ・システムログの設定
- ・設定値の初期化、バックアップ

LAN を設定します。

- ・IP アドレス/ネットマスク/DNS 設定
- ・NAT/パケットフィルタなど高度な設定
- ・DHCP サーバとしての設定



WAN 側の設定をします。

- ・DHCP クライアントの設定
- ・IP アドレス/ネットマスク/DNS の設定
- ・ドメイン名/ホストの設定
- ・NAT 機能やパケットフィルタなどの高度な設定

無線 LAN を設定します。

- ・ネットワーク名/無線チャンネル設定
- ・Web Caster FT5000 ステーションの接続制限などセキュリティの設定
- ・暗号化の設定

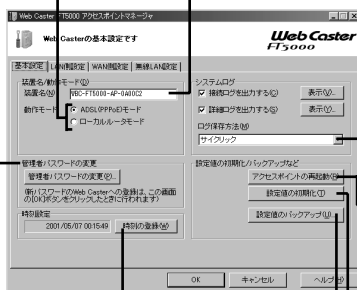
3

各種ユーティリティを使いこなしましょう

■ 基本設定 ■

Web Caster FT5000 アクセスポイントの動作モードを設定します。

装置名を設定します。



アクセスポイントマネージャを起動するときのパスワードを変更します。

ここをクリックすることによりパソコンに設定されている時刻がアクセスポイントに設定されます。

取得したログファイルを表示させます。

アクセスポイントを再起動するときをクリックします。

アクセスポイントの設定を初期値に戻します。

設定のバックアップや復元を行います。



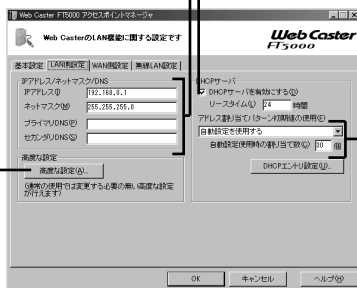
- Web Caster FT5000 アクセスポイントの設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず、イーージーアシスタントのメニューから、Web Caster FT5000 導入ウィザードを実行してください。

■ LAN 側設定 ■

Web Caster FT5000 の LAN 関係の設定を行います。
通常の使用では出荷時状態でご使用になれます。

LAN で使用する IP アドレス、ネットマスク、DNS の設定をします。

DHCP サーバ機能の有効/無効を設定します。



NAT 機能やパケットフィルタの設定をするときにクリックします。

アドレス割り当てのパターンの設定をします。
パターンの入力は [DHCP エントリ設定] をクリックして設定します。

お願い

- IP アドレスを変更した場合は、パソコンにインストールしたユーティリティが参照する IP アドレスを変更する必要があります。

アクセスポイントマネージャで 1 台目の Web Caster FT5000 アクセスポイントの [LAN 設定] タブの [IP アドレス] を出荷時設定 (“ 192.168.0.1 ”) から変更している場合は、他のパソコンでインストール時に「Web Caster FT5000 アクセスポイント (親機)」が見つかりません」というエラーが出る場合があります。

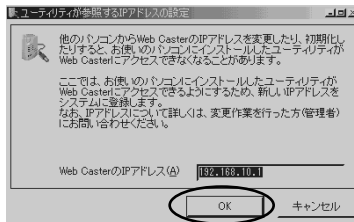
このような場合は、下記の手順で「ユーティリティが参照する IP アドレス」を変更してから、再度実行してください。

[スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

イーザーアシスタントをインストールしたフォルダの “ WBCAddrReg.exe ” を指定し、[OK] をクリックする。

(通常は “ C:\Program Files\WebCasterFT5000\WBCAddrReg.exe ”)

[Web Caster FT5000 の IP アドレス] を Web Caster FT5000 アクセスポイントに設定したアドレスに書き換え、[OK] をクリックする。



- IP アドレスを変更した場合は、パソコン側の IP アドレスも合わせて変更する必要があります。変更のしかたは「 こんなときは」(P2-15) を参照してください。

■ WAN 側設定 ■



チェックすると、Web Caster FT5000 アクセスポイントの WAN 側が DHCP クライアントとして動作するようになります。通常、接続網のサーバから IP アドレスなどが自動取得されます。

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN 側を DHCP クライアントとする場合に、接続網のサーバに対して IP アドレスを定期的に自動取得するよう要求するかどうかを設定します。通常はチェックしてください。

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN 側を DHCP クライアントとして、接続網のサーバに対して IP アドレスの自動取得要求を行う場合に、自動取得要求を行う間隔を 1 ~ 3600 秒の範囲で設定します。また、0 を指定すると自動取得要求を行わなくなります。

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN 側の IP アドレスを設定します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は、特に指定する必要はありません。

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN 側のネットマスクを設定します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は、特に指定する必要はありません。

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN 側のゲートウェイアドレスを設定します。特に指定が必要ない場合は空欄のままにしておいてください。

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN 側の DNS サーバを設定します。接続網のサーバから自動取得する場合は空欄のままでもかまいません。また、サーバから自動取得された値は、入力された値よりも優先して使用されます。

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN 側のドメイン名を設定します。指定の必要がない場合は空欄のままでもかまいません。また、サーバから自動取得された値は、入力された値よりも優先して使用されます。

Web Caster FT5000 アクセスポイントのWAN 側のホスト名を設定します。指定の必要がない場合は空欄のままでもかまいません。また、サーバから自動取得された値は、入力された値よりも優先して使用されます。

[高度な設定] をクリックすると、NAT、パケットフィルタの設定を行う画面が表示されます。

■ 無線 LAN 設定 ■

Web Caster FT5000 アクセスポイントの無線部の設定を行います。Web Caster FT5000 ステーションを使用する場合には、外部からの不正アクセスを防ぐため、セキュリティ（ネットワーク名 / MAC アドレスによる接続制限 / 暗号化）を設定変更することをお勧めします。

設定の詳細については、ヘルプを参照してください。

電波干渉がある場合に使用する無線チャネル番号を変更してください。



無線ネットワーク名を入力します。Web Caster FT5000 ステーションを登録する際は Web Caster FT5000 ステーションのネットワーク名設定部分にこれと同じネットワーク名を入力してください。

登録できるステーションの制限方法を設定します。外部からの無断接続を防ぐため MAC アドレスによる接続制限を行うことをお勧めします。(あわせて を設定してください。)

MAC アドレスにより接続制限を行うときチェックします。

ネットワーク名が不明なステーションからのネットワーク検索に応答しないようにする設定です。

ここのチェックをはずすと、不特定の相手からネットワーク名を検索されて、不正アクセスされる可能性がありますので、ご注意ください。

工場出荷時はチェックされています。

アクセスポイントの電源を入れてから約 30 分間はネットワーク名が一致しなくてもステーションから検索できます。(Web Caster FT5000 アクセスポイント本体のバージョンアップ直後および初期化後、アクセスポイントマネージャ終了時も 30 分間ステーションから検出可能となります。) 検出可能な時間は変更できます。

登録したステーションの情報や、状態を表示します。

接続するステーションの MAC アドレスを設定するときにクリックします。

ステーションの状態を取得する間隔を秒単位で指定します。指定できる範囲は 10 ~ 600 秒です。

無線データを暗号化するときを設定します。無線データに対する不正アクセス防止のため暗号化します。

暗号化を行うときは接続されているステーションに同じ暗号キーを設定してください。

暗号キーが一致しないとステーションからアクセスポイントが検出できなくなるのでご注意ください。

暗号化を行うときにチェックします。

使用する暗号化キー番号を下の暗号化キー欄の 1 番 ~ 4 番から選択してください。選択する番号にはあらかじめ暗号化キーを入力しておいてください。

暗号化キーを入力します。入力する時は英数字 5 桁で入力するか、16 進数 10 桁で入力するか、あらかじめチェックして入力してください。暗号化キーの番号により、英数字と 16 進数を切り替える場合は [OK] を押して登録してから切り替えてください(入力は半角のみとなります)。

3-4 ステーションマネージャで設定する

ステーションマネージャは、Web Caster FT5000 ステーションの通信モードの変更、ネットワーク名の変更、無線 LAN のデータ保護の設定をすることができます。ネットワークのセキュリティ保護のためにもデータ保護の設定を行うことをお勧めします。

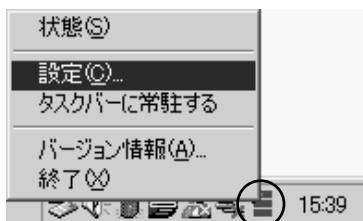
ステーションマネージャを起動するには

次のどちらかの方法で起動します。

イーザーアシスタントのメニュー画面から、[ステーションマネージャの起動] をクリックする。

[スタート] - [プログラム] - [Web Caster FT5000 ユーティリティ] - [Web Caster FT5000 ステーションマネージャ] をクリックする。

1 タスクトレイの [ステーションマネージャ] のアイコンを右クリックする



2 [設定] を選択すると、ステーションマネージャの設定画面が表示される

ステーションマネージャの設定データ (プロファイル) の選択ができます。



無線 LAN のセキュリティの設定をします。
・データ保護の有無
・暗号キーの設定

Web Caster FT5000 ステーションの基本設定です。

- ・通信モードの設定
- ・接続先ネットワークの設定及び変更チャンネルの設定 (パソコン間通信時設定)

■ プロファイル ■

プロファイルとは、ステーションマネージャの「設定データ」を指し、ステーションマネージャではこのプロファイル「設定データ」を最大 4 つまで保存できます。（WBC FT5000-STC 設定と WBC FT5000-STU 設定はそれぞれ別のプロファイルに保存されます）Web Caster FT5000 ステーションの通信相手装置（アクセスポイントまたはステーション）が複数ある場合、それぞれの通信相手装置ごとのプロファイルを登録しておけば、通信相手を変えるたびに設定データを書き換えなくてもプロファイルの選択を切り替えるだけで接続先を変更できます。



【使用例】

会社と自宅で、2 台の Web Caster FT5000 アクセスポイント（親機）を使用したい場合

まず、ステーションマネージャの [プロファイル] タブで、1 番目のプロファイル（デフォルト）を選択します。

プロファイル名を、「会社設定」に変更します。

[基本] タブで、会社の Web Caster FT5000 アクセスポイントのネットワーク名を設定します。

ここで [OK] ボタンを押し、「会社設定」を保存します。

次に、再度ステーションマネージャの [プロファイル] タブで、2 番目のプロファイル（プロファイル 2）を選択します。

プロファイル名を、「自宅設定」に変更します。

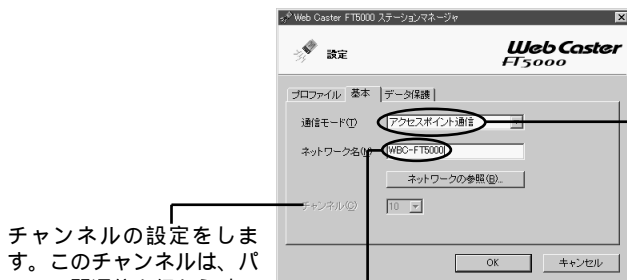
[基本] タブで、自宅の Web Caster FT5000 アクセスポイントのネットワーク名を設定します。

ここで [OK] ボタンを押し、「自宅設定」を保存します。

上記のプロファイルを設定しておけばステーションマネージャの「プロファイル」タブで、会社では「会社設定」、自宅では「自宅設定」を選択するだけで会社と自宅の Web Caster FT5000 アクセスポイント接続を切り替えて使用することができます。

■ 基本設定をする ■

Web Caster FT5000 ステーションの基本設定をします。

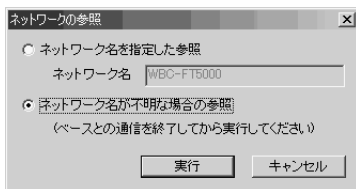


チャンネルの設定をします。このチャンネルは、パソコン間通信を行なう時に使用するチャンネルです。お互いの Web Caster FT5000 ステーションのチャンネルを割り当てることにより、パソコン間通信が可能となります。

通信モードの設定をします。

・アクセスポイント通信：
Web Caster FT5000 アクセスポイントと Web Caster FT5000 ステーション間で無線 LAN 接続する場合に使用します。
・パソコン間通信：
Web Caster FT5000 ステーションどうしでの無線 LAN 接続に使用します。

接続先のネットワーク名を入力してください。Web Caster FT5000 アクセスポイントの出荷時設定は WBC FT5000-***** (*****は 10BASE-T の MAC アドレスの下 6 桁) です。ネットワーク名がわからない場合は、[ネットワークの参照] をクリックしてください。



[ネットワーク名が不明な場合の参照] にチェックを入れ [実行] をクリックしてください。



接続先のネットワーク名をクリックして [OK] をクリックしてください。

お願い

- もしネットワーク名に何も表示されない場合、Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れ直して [ネットワークの参照] をクリックしてください。Web Caster FT5000 アクセスポイントのネットワーク名が見えるようになります。Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源投入後 [ネットワークの参照] で検索できる時間は、アクセスポイントマネージャの [無線 LAN の設定] で変更できます。(「3-3 アクセスポイントマネージャで設定する」P3-6)

■ データ保護（暗号化）の設定をする（アクセスポイント通信の場合） ■

Web Caster FT5000 ステーションのデータ保護設定をします。

データ保護の有効、無効の設定をします。

データ保護を有効にする場合は、Web Caster FT5000 アクセスポイントと Web Caster FT5000 ステーションとで、同一のキー番号（1～4）に同一の暗号化キーが設定されている必要があります。



暗号化キーの設定を行います。（英数字を使用した場合、最大 5 桁 / 16 進数を使用した場合、最大 10 桁）

設定した暗号化キー（最大 4 個）のうち、使用する暗号化キーのキー番号を設定しま

■ データ保護（暗号化）の設定をする（パソコン間通信の場合） ■

データ保護の有効、無効の設定をします。



暗号化キーの設定をします。

3

各種ユーティリティを使いこなしましょう

4

LAN 機能を使いこなしましょう

4-1	LAN のデータ通信機能	4-2
4-2	ファイルとプリンタの共有	4-14
4-3	無線 HUB モードによる ネットワーク拡張	4-19
4-4	Web Caster FT5000 の セキュリティ機能について	4-31

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

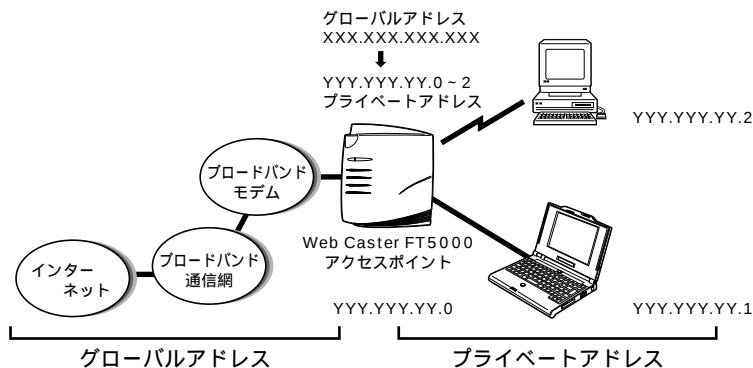
4-1 LAN のデータ通信機能

NAT / IP マスカレード

NAT (Network Address Translator) とは、インターネット上で使われるグローバルアドレス (インターネット上で 1 つしかない IP アドレス) をプライベートアドレス (LAN で任意に設定できる IP アドレス) に変換する機能です。NAT/IP マスカレードは、1 つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換することができます。

● IP アドレス

IP (Internet Protocol) アドレスとは、ネットワーク上でパソコンを識別する番号です。「192.168.0.1」のようにピリオドをはさんだ 4 つの数字で表します。



■ NAT / IP マスカレードオプション

必要に応じて NAT エントリ設定をすることで、特定のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。インターネットゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションが使用できます。

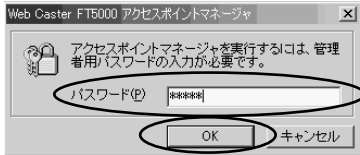
お願い

- 「3-3 アクセスポイントマネージャで設定する」(P3-6)を参照してください。
- 初期設定は、「NAT 機能を使用する」「動的変換テーブルの有効時間 300 秒」に設定されています。
- NAT の設定について詳細は、アクセスポイントマネージャのヘルプを参照してください。

■ NAT / IP マスカレードの設定を変えるには ■

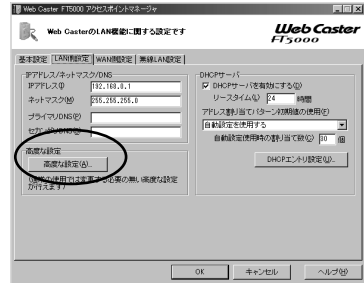
- 1 アクセスポイントマネージャを起動する
「アクセスポイントマネージャを起動するには」(P3-6)

- 2 管理者用パスワードを入力し、
[OK] をクリックする

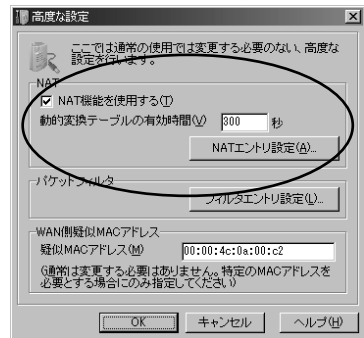


- 3 [LAN 側設定] タブまたは
[WAN 側設定] タブをクリックする

- 4 [高度な設定] をクリックする



- 5 [NAT] 欄で設定する
下記の画面は手順 3 で [WAN 側設定] タブをクリックしたときの例です。



4

LAN機能を使いこなしましょう

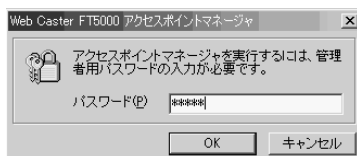
フィルタリング

TCP や UDP のサービス（WWW ブラウジングなど）を決定するポート番号とパソコンやサーバにより割り振られた IP アドレスを組み合わせ、IP パケットの通過を許す / 拒否するための機能です。この機能によって、不要な IP パケットの送受信を制限することができます。

■ パケットフィルタを設定する ■

1 アクセスポイントマネージャを起動する

2 管理者用パスワードを入れ、
[OK] をクリックする

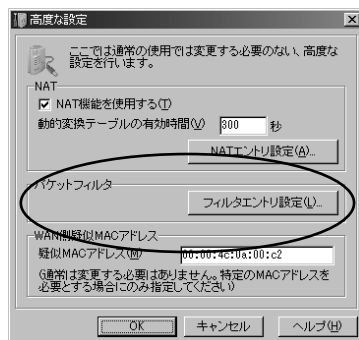


3 [LAN 側設定] タブまたは
[WAN 側設定] タブをクリックする

4 [高度な設定] をクリックする

5 [パケットフィルタ] 欄で設定する

下記の画面は手順 3 で [WAN 側設定] タブをクリックしたときの例です。

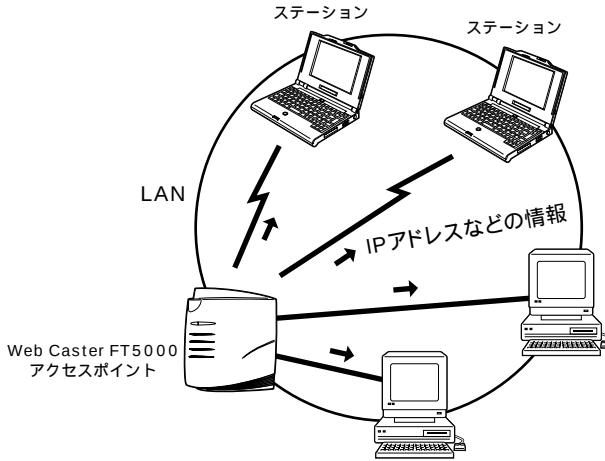


お願い

- 設定の方法についての詳細はアクセスポイントマネージャのヘルプを参照してください。

DHCP サーバ機能

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバ機能とは、LAN ポートのパソコンが起動すると、その都度、IP アドレスなどのネットワーク利用に必要な設定情報を、Web Caster FT5000 アクセスポイントから各パソコンに自動的に割り当てる機能です。これにより、各パソコンでネットワークの詳細な設定を行わなくても、LAN やインターネットに接続することができます。



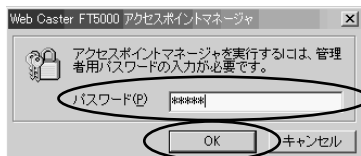
お願い

- 「3-3 アクセスポイントマネージャで設定する」(P3-6)を参照してください。
- 初期設定は、「DHCP サーバを有効にする」「リースタイム 24 時間」に設定されています。
- DHCP サーバについての詳細は、アクセスポイントマネージャのヘルプを参照してください。

■ DHCP サーバを設定する ■

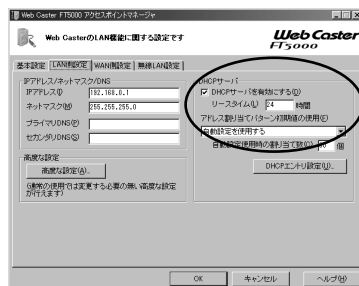
- 1 アクセスポイントマネージャを起動する
「3-3 アクセスポイントマネージャを起動するには」(P3-6)

- 2 管理者用パスワードを入力し、
[OK] をクリックする



- 3 [LAN 側設定] タブをクリックする

- 4 [DHCP サーバ] 欄で設定する



お願い

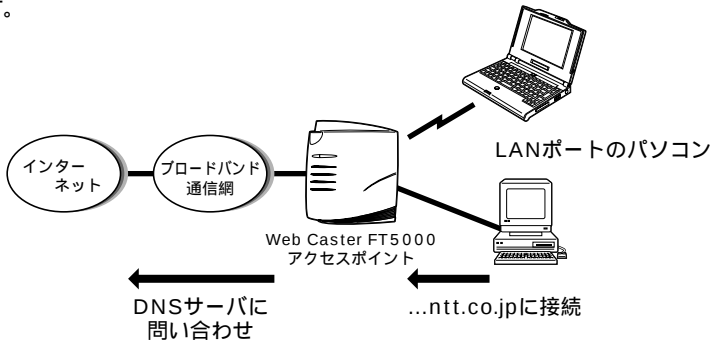
- LAN 側設定で IP アドレスを変更する場合は、必ず DHCP サーバの設定も IP アドレスに合わせて変更してください。正しく設定しないと各パソコンが Web Caster FT5000 アクセスポイントと通信できなくなります。

DNS フォワーディング

接続先（プロバイダ）の DNS サーバへの IP アドレスの問い合わせを Web Caster FT5000 アクセスポイントが自動的にコントロールします。この機能により、各パソコンで DNS サーバを設定する必要がありません。

● DNS (Domain Name System) サーバ

DNS サーバは、ホームページの URL やメールアドレスに使われているドメイン名（ntt.co.jp など）の IP アドレス（グローバルアドレス）が何番であるかという情報を管理しているサーバです。DNS サーバを利用することにより、IP アドレスを意識しなくても URL やメールアドレスの指定だけでホームページを閲覧したりメールを送信することができます。



お願い

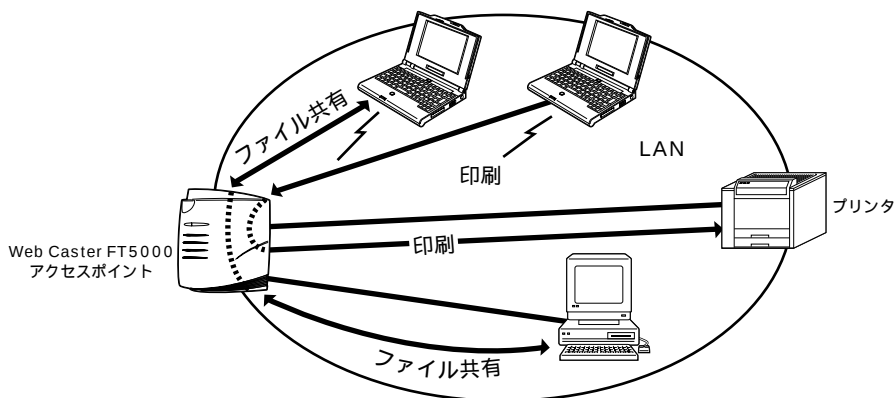
- 固定の DNS サーバを利用する場合は、「3-3 アクセスポイントマネージャで設定する」（☞P3-6）を参照してください。

4

LAN機能を使いこなしましょう

IP ルータ機能

IP ルータ機能により、Web Caster FT5000 アクセスポイントを通じてLANポートのパソコン間でファイルやプリンタの共有が利用できます。また、LANポートのパソコンで電子メールの送受信やブラウザの起動操作により、インターネットプロバイダのアクセスポイントなどにダイヤルアップ接続を開始することができます。



お知らせ

- Web Caster FT5000 アクセスポイントを介したファイルやプリンタの共有については、「4-2 ファイルとプリンタの共有」(P4-14)を参照してください。

IEEE802.11b 無線 LAN

Web Caster FT5000 が提供する無線 LAN は、IEEE802.11b に準拠しており、有線 LAN (Ethernet) と比べても遜色のない高速データ通信が可能です。また、イーザアシスタントを利用して、ステーションの増設に柔軟に対応することができます。

● 増設可能なステーション数

Web Caster FT5000 アクセスポイントに接続できるステーション数は Web Caster FT5000 アクセスポイントの USB ポートに接続されているパソコンと合わせて 32 台までです。

10 台以下でのご利用を推奨します。

■ ステーションマネージャで通信状態を確認する

- 1 タスクトレイのステーションマネージャのアイコンを右クリックする



- 3 通信状態を確認したら[閉じる]をクリックする

- 2 [状態] をクリックする
ステーションと Web Caster FT5000 の通信状態が表示されます。



お知らせ

- IEEE802.11b は、無線 LAN の規格です。データの伝送速度、通信方式、通信データの構造など、無線 LAN 通信を標準化するための規格が決められています。

4

LAN 機能を使いこなしましょう

WEP / MAC アドレスセキュリティ機能

Web Caster FT5000 は、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能として WEP と MAC アドレスセキュリティを搭載しています。

■ WEP

WEP (Wired Equivalent Privacy) は、ユーザが指定した任意の文字列 (キー) からデータが暗号化されます。アクセスポイントとステーションに登録してある暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、Web Caster FT5000 アクセスポイントとステーションとの間で送受信される無線通信データを保護することができます。

■ WEP の設定 (アクセスポイントマネージャ) ■

アクセスポイントマネージャで WEP を設定するときは、以下の操作を行います。

アクセスポイントマネージャ→ステーションマネージャの順で設定してください。

1 アクセスポイントマネージャを
起動する

2 [無線 LAN 設定] タブをクリック
する

3 [暗号化] 欄で設定する



● WEP の設定 (ステーションマネージャ)

以下の操作をステーションのパソコンで行ってください。

1 タスクトレイのステーションマ
ネージャのアイコンを右クリッ
クする

2 [設定] をクリックする

3 [データ保護] タブをクリック
する



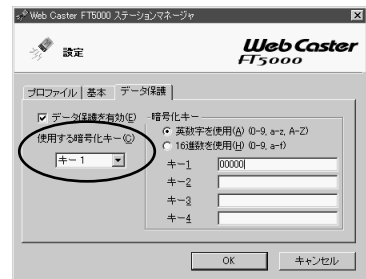
4 [データ保護を有効] をチェックする

5 [英数字を使用] または [16進数を使用] をクリックし、キーを入力する

[キー1] から [キー4] の4種類のキーを設定することができます。

Web Caster FT5000 アクセスポイントに登録されている暗号化キーを設定してください。

6 [使用する暗号キー] から使用するキーを選択する



7 [OK] をクリックする

■ MAC アドレスセキュリティ機能

お使いの Web Caster FT5000 アクセスポイントに登録されたステーションとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、他のステーションから LAN やインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

● MAC アドレスセキュリティ機能の設定

- 「3-3 アクセスポイントマネージャで設定する」(P3-6) を参照してください。
- MAC アドレスセキュリティの設定については、アクセスポイントマネージャのヘルプを参照してください。

4

LAN 機能を使いこなしましょう

ロギング機能

Web Caster FT5000 アクセスポイントで行った通信のログをイージーアシスタント、またはアクセスマネージャから簡単な操作で見ることができます。

■ 接続ログを見るには

1 タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンを右クリックする

2 [ログの表示] をクリックする
接続ログが表示されます。



3 ログを確認したら [閉じる] をクリックする



お知らせ

- [ログの表示] 画面の [クリア] をクリックすると、ログを消去することができます。
- イージーアシスタントからログを見るときは、イージーアシスタントを起動し、メニュー画面の [通信情報の表示] をクリックします。
- アクセスポイントマネージャの [基本設定] タブ、接続ログ欄の [表示] をクリックしても確認できます。

■ 詳細ログを表示するには

- 1 アクセスポイントマネージャを起動する
- 2 [基本設定] タブを選択する
- 3 システムログ欄の [詳細ログを出力する] の項をチェックし、
[表示] をクリックする
- 4 ログを確認したら [閉じる] をクリックする



4

LAN機能を使いこなしましょう

4-2 ファイルとプリンタの共有

LAN を使ったファイルとプリンタの共有

Web Caster FT5000 に接続されたパソコンどうしでは、ファイルのやりとりをしたり、他のパソコンに接続されているプリンタを利用することができます。

お願い

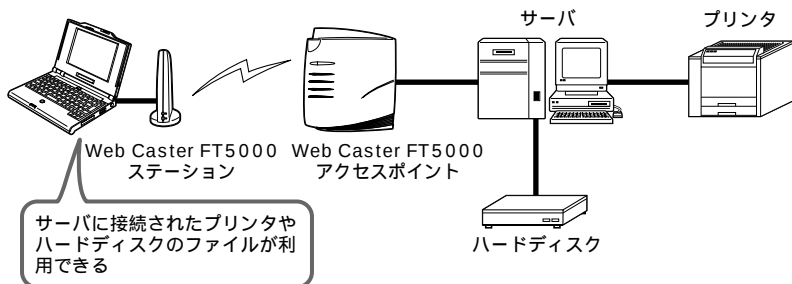
- Web Caster FT5000 アクセスポイントに接続されているパソコンも、Web Caster FT5000 ステーションに接続されているパソコンも、「Web Caster FT5000 導入ウィザード」で設定を行うと、Windows® の共有機能を利用して、ファイルやプリンタを共有できるようになります。

ここではできることと、利用するまでの大まかな手順を説明しています。設定例については、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。また、Windows® の共有機能ですので、設定に関するお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願い致します。

■ ファイルとプリンタ共有の利用例（サーバとクライアント）

ファイルやプリンタを提供する側のパソコンをサーバ、提供されたファイルやプリンタを利用する側のパソコンをクライアントと呼びます。Web Caster FT5000 に接続されたすべてのパソコンを、サーバとしてもクライアントとしても利用することができます。クライアントからサーバに対して、次のような利用ができます。

- ・ クライアントからサーバのファイルを開く
- ・ クライアントが、サーバのファイルを自分のハードディスクにコピーする
- ・ クライアントからサーバに接続されているプリンタで印刷する



LAN に接続するための準備

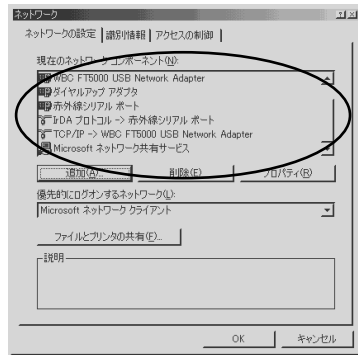
LAN に接続する前に、それぞれのパソコンで以下の ~ の準備を行ってください。

ネットワークコンポーネントの確認

Windows® のネットワークコンポーネントとして、以下のものがインストールされているか確認します。

- ・ Microsoft ネットワーククライアント (Windows® 2000 は「Microsoft ネットワーク用クライアント」)
- ・ TCP/IP (Windows® 2000 は「インターネットプロトコル (TCP/IP)」)
- ・ Microsoft ネットワーク共有サービス (Windows® 2000 は「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」)

画面は Windows® Me の例です



ネットワークコンポーネントが1つでも不足している場合は、添付のCD-ROM「データ通信詳細ガイド」「1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照して追加してください。

Windows® Me/98 の場合の確認操作

[スタート] ボタン— [設定] — [コントロールパネル] のクリック



[ネットワーク] アイコンのダブルクリック

「優先的にログオンするネットワーク」は、「Microsoft ネットワーククライアント」にしてください。

Windows® 2000 の場合の確認操作

[スタート] ボタン— [設定] — [ネットワークとダイヤルアップ接続] をクリック



[ローカルエリア接続] アイコンのダブルクリック



[プロパティ] のクリック

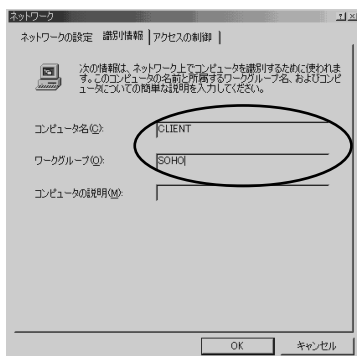


- Windows® Me の場合は、ホームネットワークウィザードは使わないでください。インターネット接続できなくなります。

コンピュータ名 / ワークグループ名の設定

コンピュータ名は、ネットワーク上でパソコンを識別するための名前です。半角英数字を使い、各パソコンで別々の名前をつけます。また、ファイルやプリンタを共有しあうパソコンは、ネットワーク内のワークグループ名を同じにする必要があります。

[識別情報] タブで設定します。



Web Caster FT5000 の設定

イージーアシスタントの Web Caster FT5000 導入ウィザードで表示される案内に従って操作すると Web Caster FT5000 の LAN の設定が行えます。

- Web Caster FT5000 ステーションにパソコンを接続する場合 (➡ P2-7)
- Web Caster FT5000 アクセスポイントの USB ポートにパソコンを接続する場合 (➡ P2-18)



お知らせ

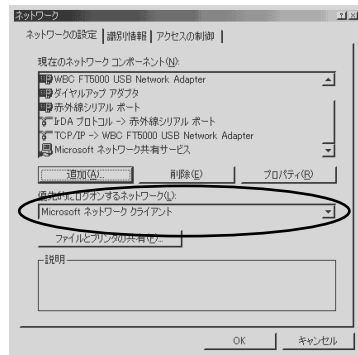
- 「ネットワークコンポーネントの確認」と「コンピュータ名 / ワークグループ名の確認」の具体的な操作については、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」 「1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

ファイルとプリンタを共有する

■ フォルダやプリンタに共有を設定する（サーバ）

ファイルやプリンタを共有するには、サーバのパソコンで以下の操作を行ってください。

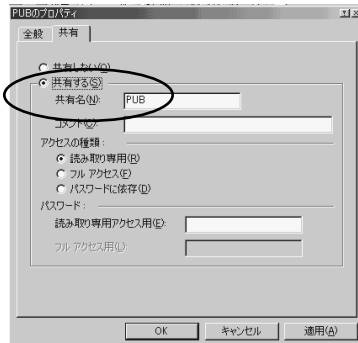
「Microsoft ネットワーク共有サービス」
Windows® 2000 の場合は「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
サーバとするパソコンには、「Microsoft ネットワーク共有サービス」というネットワークコンポーネントをインストールします。
「優先的にログオンするネットワーク」は、「Microsoft ネットワーククライアント」にします。



「フォルダの共有設定」または「プリンタの共有設定」

共有させたいファイルが保存されているフォルダに対して共有を設定します。また、プリンタに対して共有を設定すると、クライアントから利用できるようになります。

画面はフォルダの共有設定の例です。共有したいフォルダのアイコンを右クリックして [共有] を選択すると表示されます。



お知らせ

- の具体的な操作については、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」「1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

4

LAN機能を使いこなしましょう

■ 共有フォルダや共有プリンタを利用する（クライアント）

サーバでフォルダやプリンタに共有が設定されていると、クライアント側からは、以下の手順でサーバの共有フォルダや共有プリンタに接続できます。

1 デスクトップの [マイネットワーク] アイコンをダブルクリックする
LAN に接続されているパソコンのアイコンが表示されます。

2 利用したいパソコンのアイコンをダブルクリックする
共有が設定されているフォルダやプリンタのアイコンが表示されます。



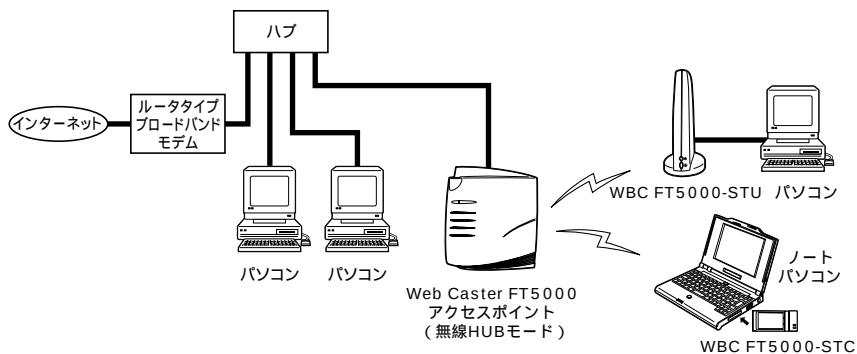
お知らせ

- 具体的な操作については、添付の CD-ROM に収録されている「データ通信詳細ガイド」
「1-2 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

無線 HUB モードによる ネットワーク拡張

Web Caster FT5000 では、無線 HUB（ハブ）モードを利用して、下記のような構成でネットワークを拡張できます。設置方法は、下の図にもとづいて説明します。

ルータタイプのブロードバンドモデムに無線アクセスポイントを追加する



ルータタイプのブロードバンドルータ等、Web Caster FT5000 以外のルータに接続する場合は、アクセスマネージャは使用できません。導入ウィザードで Windows® 起動時に自動起動しない設定にしてください。



お知らせ

- ルータタイプのブロードバンドモデムに直接 10BASE-T ケーブルで Web Caster FT5000 アクセスポイント（無線 HUB モード）を接続することもできます。

お願い

- 無線ローミングは、同一ネットワークに存在する Web Caster FT5000 アクセスポイント間でのみ行うことが可能です。ネットワーク名およびネットワークアドレス（サブネット）の異なるネットワーク間では、ローミングを行うことができません。
- ネットワークを構成するために必要な、ハブや 10BASE-T ケーブル（ストレート）は、お客様でご用意ください。
- Web Caster FT5000 アクセスポイントを無線 HUB モードに設定すると、イーージーアシスタントやアクセスポイントマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワーク（10BASE-T ポート）から外してください。（「無線 HUB モードを設定する」➡P4-26）その際、必ずディップスイッチの 3 を [OFF] にして、無線 HUB モードを解除してからアクセスポイントマネージャで設定を変更してください。

無線 HUB モードの設定手順

Web Caster FT5000 アクセスポイントを無線 HUB モードで使うには、次の手順で設定を行います。

- ユーティリティやドライバをインストールする
- アクセスポイントマネージャでアクセスポイントのネットワーク設定を変更する
- ステーションマネージャの設定を変更する
- 無線 HUB モードを設定する
- Web Caster FT5000 アクセスポイントをネットワークに接続する
- 無線接続するパソコンの利用範囲を確認する

お願い

- 無線で接続するパソコン（Web Caster FT5000 ステーション）が複数ある場合は、無線 HUB モードに設定する前に、すべてのパソコンで ~ の設定をしてください。無線 HUB モードにすると、 ~ の導入ウィザードや ~ のアクセスポイントマネージャの設定ができなくなります。
あとから無線で接続するパソコン（Web Caster FT5000 ステーション）を追加する場合は、 ~ のネットワークから Web Caster FT5000 アクセスポイントを外して、 ~ の無線 HUB モードを通常モードに戻してから、 ~ の手順で設定してください。

ユーティリティやドライバをインストールする

以下の説明は、WBC FT5000-STC を例にして行います。

■ イージーアシスタントをインストールする

- 1 Windows® Me/98/2000 を起動する
- 2 Web Caster FT5000 に添付の CD-ROM [Web Caster FT5000 専用 CD-ROM] を CD-ROM ドライブにセットする
- 3 [イージーアシスタントのインストール] をクリックする
- 4 [次へ] をクリックする
- 5 [次へ] をクリックする
- 6 画面の同意書を読み、同意できる場合は、[次へ] をクリックする
- 7 表示されたインストール先を確認し、[次へ] をクリックする
インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてください。
- 8 「フォルダを作成しますか？」と記載された画面が表示された場合は、[はい] をクリックする
- 9 [README の表示] にチェックが入っていることを確認し、[完了] をクリックする
- 10 README をお読みいただき、[README] 画面を閉じる
インストールが完了します。
イージーアシスタントのインストールが完了すると Web Caster FT5000 導入ウィザードが自動的に起動します。
- 11 [キャンセル] をクリックして導入ウィザードを中断する

■ Web Caster FT5000 導入ウィザードでドライバをインストールする

1 イージーアシスタントのメニュー画面で[導入ウィザード]をクリックする

2 [次へ]をクリックする

3 Web Caster FT5000 の動作モードを選択し、[次へ]をクリックします

4 [ワイヤレス LAN (ステーションカード)]を選択し、[次へ]をクリックする

5 [実行]をクリックする

6 [接続待ち]画面が表示されたら、WBC FT5000-STC をパソコンに取り付ける
ドライバがインストールされます。既にドライバがインストール済みの場合はスキップされます。

7 [次へ]をクリックする

8 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れる
Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源がすでに入っている場合は、電源をいったん切り、入れ直してください。
Power ランプ、Ready ランプ、Data ランプが点滅したあと、Power ランプが緑色に点灯します。

9 Web Caster FT5000 アクセスポイントが起動していることを確認し、[実行]をクリックする

10 接続する Web Caster FT5000 アクセスポイントのネットワーク名を選択し、[OK]をクリックする



お知らせ

- 工場出荷時のネットワーク名は「WBC-FT5000-xxxxxx」です。(xxxxxxは、Web Caster FT5000 アクセスポイントの背面に記載されている 10BASE-T の MAC アドレスの下 6 桁です。)

11 [OK]をクリックする
通信モードは、[アクセスポイント通信]のままにしてください。これで WBC FT5000-STC の設定が終了します。

12 [次へ]をクリックする

- 13 LAN の設定を入力する
- ・[管理者用のパスワード] には、Web Caster FT5000 の設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには、任意の英数字半角 64 文字まで入力できます。
 - ・[装置名] には、Web Caster FT5000 の名称を入力します。通常はお買い上げ時の設定のままでかまいません。
 - ・Web Caster FT5000 アクセスポイントに「管理者用パスワード」が設定済みの場合は、手順 14 へ進みます。



お知らせ

- 管理者用パスワードは、Web Caster FT5000 アクセスポイントをアクセスポイントマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

- 14 [次へ] をクリックする

- 15 パソコンを起動したときに起動するユーティリティを設定する
- [アクセスマネージャを Windows 起動時に自動的に起動する] がチェックされていることを確認します。
- ルータタイプのプロードバンドモデム等 Web Caster FT5000 以外のルータに接続するときはチェックを外してください。
- ステーションマネージャを自動的に起動するときは、[ステーションマネージャを Windows 起動時に自動的に起動する] をチェックします。

- 16 [次へ] をクリックする

- 17 設定内容を確認し、[実行] をクリックする

Web Caster FT5000 に LAN で通信するための設定を登録します。

- 18 [設定終了] をクリックする
- イージーアシスタントのメニュー画面に戻ります。

無線 HUB モードのみでご使用になる場合は、インターネットの接続設定は必要ありません。イージーアシスタントのメニュー画面に戻ります。

アクセスポイントマネージャでアクセスポイントのネットワーク設定を変更する

Web Caster FT5000 アクセスポイントが2台以上あるときはネットワーク名を同一のものに変更します。

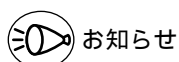
1 イージーアシスタントの[アクセスポイントマネージャの起動]をクリックする

2 Web Caster FT5000 アクセスポイントの管理者用パスワードを入力し、[OK]をクリックする
アクセスポイントマネージャが起動します。

3 [無線LAN設定]タブをクリックする

4 [ネットワーク名]に、任意のネットワーク名(2台目以降は同じネットワーク名)を入力する

例: ネットワーク名 = NTT-
NETWORK1



お知らせ

- 無線ネットワークにセキュリティをかける場合は、ここで[子機の接続制限]や[暗号化]の設定も行ってください。
また、電波干渉などで無線チャンネルを変更する場合も同様にここで変更してください。

5 [OK]をクリックする
設定値が登録されます。

6 [OK]をクリックする
Web Caster FT5000 アクセスポイントが再起動し、イージーアシスタントのメニュー画面が表示されず。



お知らせ

- Web Caster FT5000 アクセスポイントが再起動したあと、ネットワーク名が変わったため「Web Caster FT5000-AP がみつかりません」のエラー表示が出る場合があります。その場合はステーションマネージャで同じネットワーク名に設定し直してください。

ステーションマネージャの設定を変更する

1 タスクトレイの [ステーションマネージャ] アイコンを右クリックする

タスクトレイにアイコンがない場合は、[スタート] - [プログラム] - [Web Caster FT5000 ユーティリティ] - [Web Caster FT5000 ステーションマネージャ] をクリックしてください。

2 [設定] をクリックする
ステーションマネージャが起動します。

3 [基本] タブの [ネットワーク名] をアクセスポイントマネージャで変更した名前に書き換える

4 [OK] をクリックする
ステーションマネージャが終了します。



お知らせ

- ここで、下記の手順で通信状況が「良好」になることを確認してください。

タスクトレイの「ステーションマネージャ」を右クリックする
[状態] をクリックする
→通信状況が表示されます

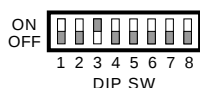
4

LAN機能を使いこなしましょう

無線 HUB モードを設定する

ディップスイッチで Web Caster FT5000 アクセスポイントを無線 HUB モードに変更します。

- 1 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を切る
- 2 装置底面のディップスイッチカバーを開ける
- 3 ディップスイッチの 3 を「ON」にする
つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。



DIP SW3
ON : 無線 HUB モード
OFF : 通常モード

- 4 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れる

お願い

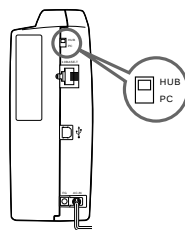
- Web Caster FT5000 アクセスポイントを無線 HUB モードに設定すると、イーザーアシスタントやアクセスポイントマネージャによる各種設定ができなくなります。設定変更する場合は、ネットワーク（10BASE-T ポート）から外して上記と逆に、ディップスイッチの 3 を [OFF] にして、無線 HUB モードを解除してからアクセスポイントマネージャで設定を変更してください。

Web Caster FT5000 アクセスポイントをネットワークに接続する

■ Web Caster FT5000 アクセスポイントとハブを接続する

1 Web Caster FT5000 アクセスポイントの背面にある「10BASE-T ポート」を、添付の 10BASE-T ケーブル（ストレート）で上位ネットワークのハブへ接続する

2 Web Caster FT5000 アクセスポイントの背面の「ストレート/クロス切り替えスイッチ」を「HUB」側に設定する



■ Web Caster FT5000 アクセスポイントおよびハブの接続を確認する

Web Caster FT5000 アクセスポイントおよびハブの電源を入れ、それぞれの LAN ポートが正しく接続されていることを確認します。

- Web Caster FT5000 アクセスポイントの場合は、背面の「10BASE-T ポート状態表示ランプ」が点灯します。

使用する 10BASE-T ケーブル、ハブのポート仕様によっては「ストレート/クロス切り替えスイッチ」を反対側にしないと通信できない場合があります。「10BASE-T ポート状態表示ランプ」が点灯するように「ストレート/クロス切り替えスイッチ」を切り替えてください。

必ず無線 HUB モードにしてから、上位ネットワーク（10BASE-T ポート）に接続してください。また無線 HUB モードを解除する場合は、必ず上位ネットワーク（10BASE-T ポート）から外してから、解除してください。

- 上位ネットワークのハブについては、ハブの取扱説明書をご覧ください。

4

LAN 機能を使いこなしましょう

■ Web Caster FT5000 ステーションからのインターネット接続を確認する

増設したそれぞれの Web Caster FT5000 アクセスポイントごとにインターネット接続ができることを確認します。

1 1 台の Web Caster FT5000 アクセスポイントのみ電源を入れる

Web Caster FT5000 アクセスポイントを複数台接続している場合は、接続確認を行う 1 台のみを除いて、他の Web Caster FT5000 アクセスポイントは電源を切ってください。

2 Web Caster FT5000 ステーションを接続したパソコンから、インターネット接続の確認を行う



- 電源を入れたまま Web Caster FT5000 アクセスポイントが複数台あると、無線が他の Web Caster FT5000 アクセスポイント経由で接続してしまい、正しく確認できない場合があります。
Web Caster FT5000 アクセスポイントからのインターネット接続の確認は、1 台ずつ行ってください。

無線接続するパソコンの利用範囲を確認する

すべての Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れ、無線接続するパソコンの利用範囲を確認します。

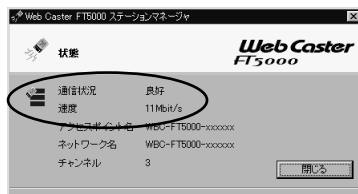
1 すべての Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れる

2 Web Caster FT5000 ステーションを接続したパソコンのタスクトレイ [ステーションマネージャ] アイコンを右クリックする

3 メニューの [状態] をクリックする

無線の通信状態が表示されます。

4 パソコンの場所を変えながら [通信状況] と [速度] を確認する





お知らせ

- 無線の通信状況が「限界」、または「2 Mbit/s 以下」になる場合は、通信が切断されたり不安定になる場合があります。

このような場合は、Web Caster FT5000 アクセスポイントの配置場所を変えたり、Web Caster FT5000 アクセスポイントを増設したりして対処してください。

- Web Caster FT5000 ステーションが、複数の Web Caster FT5000 アクセスポイントの電波範囲にある場合は、電波強度の強いアクセスポイントを経由して通信を行います。ステーションの位置を移動した場合には、自動的に通信エリアが切り替わります。

お困りのときには

Web Caster FT5000 でネットワーク接続を行う際、正しく動作しないときにお読みください。

■ ネットワークの参照ができない場合

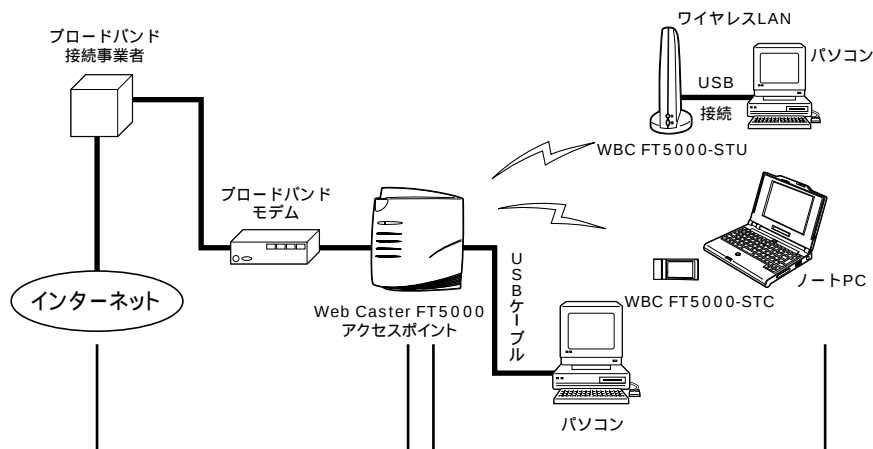
WBC FT5000-STC / WBC FT5000-STU でネットワーク接続する場合、「導入ウィザード」の [ネットワーク参照] で Web Caster FT5000 アクセスポイントが見つからない場合は、下記の操作を行ってください。

一番近くの Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れ直す。

タスクトレイの [ステーションマネージャ] を右クリックし、[設定] → [ネットワークの参照] を設定し直す。または、P4-24 で設定した [ネットワーク名] を直接入力し、[OK] をクリックする。

Web Caster FT5000 のセキュリティ機能について

Web Caster FT5000 のセキュリティ機能には、無線 LAN ネットワーク内のセキュリティとブロードバンド通信網からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。



WAN側セキュリティ機能

- ・ NAT / IP マスカレード
- ・ IP フィルタリング
- ・ アクセスマネージャ

LAN内ネットワークセキュリティ機能

- ・ ネットワーク名 (ESSID)
- ・ WEP
- ・ MAC アドレスセキュリティ機能

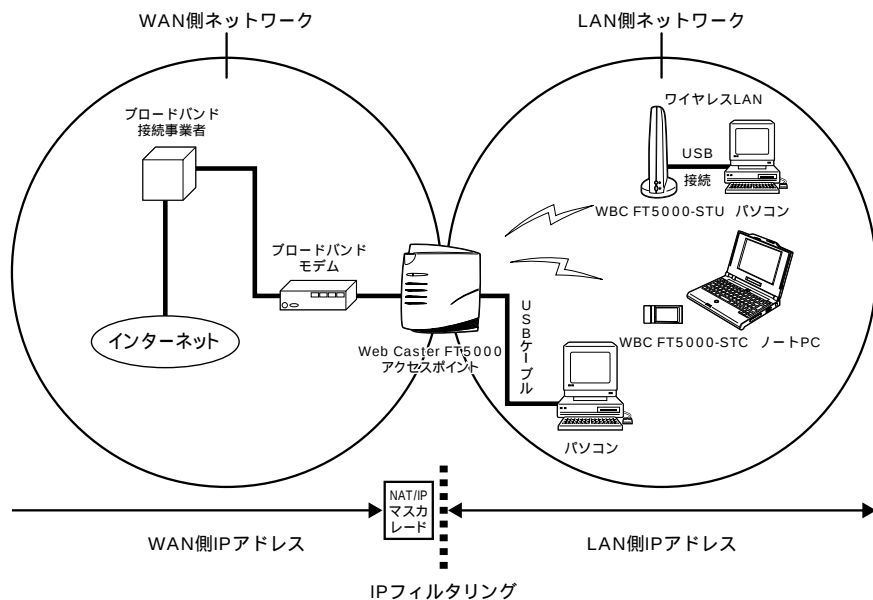
WAN 側へのセキュリティ機能

Web Caster FT5000 では、インターネット接続状態におけるブロードバンド通信網へのセキュリティ機能として次の 3 つを備えています。

- ・ NAT / IP マスカレード
- ・ IP フィルタリング
- ・ アクセスマネージャ

特に Web Caster FT5000 独自のアクセスマネージャでは、パソコンごとにブロードバンド通信網への接続を制御して、必要のないときにはインターネットとパソコンの接続を切り離すことで Web Caster FT5000 に接続されたパソコンのネットワークの安全性を確保します。

それぞれの機能について説明します。



■ NAT / IP マスカレード機能

NAT (Network Address Translator) とは、インターネット上で使われるグローバルアドレス (インターネット上で 1 つしかない IP アドレス) をプライベートアドレス (LAN で任意に設定できる IP アドレス) に変換する機能です。NAT / IP マスカレードは、1 つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換することができます。この NAT / IP マスカレード機能により、外部からは、各パソコンの IP アドレスは見えず、LAN 側のパソコンへの不正な直接アクセスを防ぐ効果があります。また、NAT / IP マスカレードオプションの設定で、細かいアクセス制御をすることで、ネットワークゲームに対応することも可能です。

WAN 側にプライベート IP アドレスを割り振るブロードバンド接続事業者の場合、ネットワークゲームがご利用になれない場合があります。接続事業者にご確認ください。

詳しい設定の方法は、「4-1 LAN のデータ通信機能」「NAT / IP マスカレード」(P4-2) を参照してください。

■ フィルタリング機能

Web Caster FT5000 では、不正なアクセスや不必要な IP パケットの送受信を制限することができます。

詳しい設定の方法は、「4-1 LAN のデータ通信機能」「フィルタリング」(P4-4) を参照してください。

■ アクセスマネージャによる接続設定機能

アクセスマネージャで接続先を指定してコネクションすることにより、外部からの不正なアクセスを防止することができます。また、アクセスマネージャでは、インターネットへの接続方法（自動 / 手動 / 表示など）を選択することができます。

■ 接続方法を選択する ■

1 タスクトレイのアクセスマネージャのアイコンを右クリックする

2 メニューから [オプションの設定] を選択する

3 [接続確認] タブをクリックし、接続方法を設定する



4 接続方法の設定を行う

5 設定後は、[OK] をクリックして閉じる

■ 設定例 ■

設定例

アクセスマネージャの [オプションの設定] で、[インターネットへの接続を自動検出する] のチェックを外します。

動作：タスクトレイのアクセスマネージャのメニューから手動で接続 / 切断を行う設定です。
接続確認の自動ポップアップはされません。

設定例

アクセスマネージャの[オプションの設定]で、[インターネットへの接続を自動検出する]と[インターネット接続の前に確認メッセージを表示する]の両方にチェックをします。

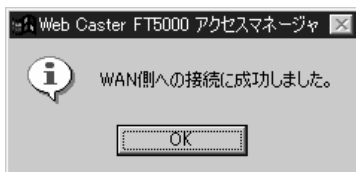
動作：WWWブラウザやメールソフトを使って、インターネットへ接続するたびに、Web Caster FT5000 でアクセスマネージャの接続確認の画面を表示する設定です。接続確認画面で[接続]することでインターネットに接続するので、意図しない接続を防ぐことができます。また、この手順は、ADSLのように接続するプロバイダを切り替えながら接続する場合にも便利です。



設定例

アクセスマネージャの[オプションの設定]で、[インターネットへの接続を自動検出する]をチェックして[インターネット接続の前に確認メッセージを表示する]のチェックを外します。下の欄の[接続後に通知メッセージを表示する]をチェックします。

動作：接続確認の画面を省略する設定です。ただしインターネットへの接続が完了したことを知らせる画面が出るので、インターネットに接続したことを簡単に知ることができます。



- この場合、パソコンのアプリケーションでインターネットへパケットを自動発信するような設定になっていると、自動的にインターネットへ接続されることになりますので、無人でパソコンを運用する場合などは十分ご注意ください。
ただし、パソコン画面に接続完了の画面が表示されるので意図しない接続の発見が簡単にできます。

設定例

アクセスマネージャの[オプションの設定]で、[インターネットへの接続を自動検出する]をチェックします。[インターネット接続の前に確認メッセージを表示する]と[接続後に通知メッセージを表示する]の両方のチェックを外します。

動作：接続確認の画面と接続完了の画面の両方を省略する設定です。この場合、使い勝手は通常のブロードバンドルータとほぼ同じになります。タスクバーのアクセスマネージャのアイコンの状態で接続状況を確認できます。アイコンが下記の場合は接続中です。

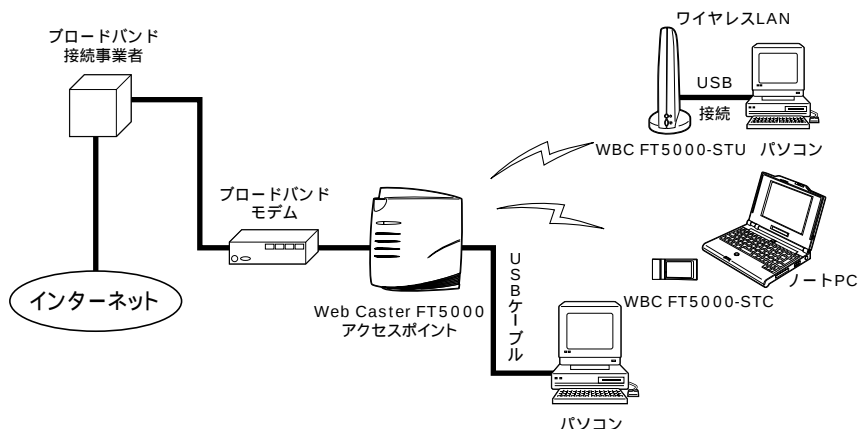


- この場合無人でパソコンを運用する場合には、意図しない接続がされてしまうおそれがありますので、十分な知識が必要となります。

また、パソコン画面にも接続完了の画面が表示されません。アクセスログのみが履歴となりますので、運用時にはアクセスログをチェックすることを強く推奨します。(「ロギング機能」➡P4-12)

無線ネットワーク内のセキュリティ機能

Web Caster FT5000 は、Web Caster FT5000 に接続されたパソコンでネットワーク内の無線データ通信を行うときに必要なセキュリティ機能として、WEP と MAC アドレスセキュリティを搭載しています。



■ ネットワーク名 (ESSID : Extended Service Set ID) ■

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (ESSID とも呼びます) を設定します。このネットワーク名が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名は検索することができますが、Web Caster FT5000 の初期設定ではこの検索に응答しないようにしています。ただし、電源を入れて最初の 30 分間は、検索に응答しますので、ネットワーク名を忘れて検索するときは、Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れ直して、30 分以内にネットワークの参照を行ってください。

■ WEP : Wired Equivalent Privacy ■

ユーザが指定した任意の文字列 (暗号化キー) を Web Caster FT5000 アクセスポイントと Web Caster FT5000 ステーションに登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、Web Caster FT5000 アクセスポイントとステーションとの間で送受信される無線通信データを暗号化して保護しますので、第三者からのぼう受や盗聴から守ります。

■ MAC アドレスセキュリティ機能 ■

MAC アドレスを使ってお使いの Web Caster FT5000 が登録されたステーションとのみデータ通信ができるようにする機能です。これにより、他のステーションから LAN やインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

WEP / MAC アドレスセキュリティ機能の設定方法については「4-1 LAN のデータ通信機能 WEP / MAC アドレスセキュリティ機能」(P4-10) を参照してください。

5

お困りのときには

Web Caster FT5000 がうまく動かない、
操作しても違う結果になるなど、お困りのと
きには本章をお読みください。

5-1	トラブルシューティング	5-2
5-2	初期化	5-4
5-3	自己診断	5-6

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition
operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating
system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating
system の略です。

5-1 トラブルシューティング

設置に関するトラブル

症 状		原因と対策
電源を入れたとき	Power ランプが点灯しない	電源が入っていません。 ● 電源コードが外れている → 電源コードを電源コンセントに差し込んでください。 ● 電源スイッチが入っていない → 電源スイッチの [I] (オン) 側を押してください。 ● 電源コードがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている → 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると Web Caster FT5000 アクセスポイントに供給されている電源も切れてしまいます。 ● 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源コードをコンセントから外して当社のサービス取扱所にご相談ください。
Web Caster FT5000 が正常に動作しないが、原因がわからない	設定に誤りがある	● 設定に誤りがある場合があります。 → 以下のようにして、現在の設定内容を表示、または印刷して確認してみてください。 1) イージーアシスタントを起動する 2) [設定値のバックアップ] をクリックする 設定内容の一覧が表示されます。 3) 設定内容を印刷する場合は、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックし、印刷条件を指定して [OK] をクリックする どうしても動作しない場合は、購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。

通信に関するトラブル

症 状		原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された		● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 Windows® Me/98 の場合 「スタート」- 「ファイル名を指定して実行 (R)」 をクリックします。 "winipcfg" を入力して [OK] をクリックします。 使用している Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから WBC FT5000-AP と使用のアダプタ名 ("WBC FT5000-STU", "WBC FT5000-STC" または "WBC FT5000 USB Network Adapter") を選択します。 「解放 (S)」 をクリックして、IP アドレスが 0.0.0.0 になることを確認します。IP アドレスはすでに解放されていますと表示されたときは、[OK] をクリックして へ進んでください。 「書き換え (N)」 をクリックして、IP アドレスが "192.168.0.xxx" になることを確認します。 Windows® 2000 Professional の場合 「プログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」 をクリックします。 "ipconfig/renew" を入力して [Enter] キーを押します。 IP アドレスが "192.168.0.xxx" になることを確認します。

イーザーアシスタントに関するトラブル

症 状	原因と対策
イーザーアシスタント、アクセスポイントマネージャ、アクセスマネージャを使用できない	- Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源スイッチが入っていない →電源スイッチの[I] (オン) を押した状態にしてください。 10BASE-T 接続の場合は10BASE-T ケーブルが正しく接続されているか確認してください。10BASE-T コネクタ横の10BASE-T ポート状態表示LEDで確認できます。 ランプが点灯していない場合、ケーブルとストレート/クロス切り替えスイッチを確認してください。 - USB-LANポート接続の場合は、USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。Web Caster FT5000 アクセスポイントのReadyランプが緑(またはオレンジ)に点灯していることで確認できます。Readyランプが正しく点灯しない場合はUSBドライバが正しくインストールされているか確認してください。 - Web Caster FT5000 ステーション (WBC FT5000-STC/WBC FT5000-STU) からの接続の場合は、ステーションマネージャで無線が正しく通信できているか確認してください。通信状態が範囲外または異常の場合はステーションマネージャの設定を確認してください。
使用可能状態において、突然「Web Caster FT5000-APが見つかりません。…」と表示される	- 上記トラブルの1項目を参照してください。 - 通信に関するトラブルの項目を参照して、IPアドレスを更新してください。
Web Caster FT5000 ステーションが使えない	- Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源が入っていない →電源が入っているか確認してください。 - 無線のネットワーク名 (ESSID) が間違っている (一致していない) →Web Caster FT5000 アクセスポイントに登録されているネットワーク名とステーションマネージャで設定しているネットワーク名が同じか確認してください。 Web Caster FT5000 アクセスポイントの出荷時設定は、WBC-FT5000-***** (*****は10BASE-TのMACアドレスの下6桁) です。 - 暗号化 (WEP) の設定が一致していない。 →アクセスポイントとステーションは、暗号化のWEPキーが一致しないと通信できません。WEPの暗号化キーとキー番号を確認してください。初期化すると暗号化が解除されます。

ADSL 接続でのトラブル

症 状	原因と対策
ADSL (PPPoE) 接続できない	フレッツ・ADSL 接続後、パソコン電源のON/OFF等で異常終了した場合、Web Caster FT5000 アクセスポイントの再起動後、一定時間 (最大で30分間程度) 接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。

この他に、添付のCD-ROMに収録されている電子マニュアルの「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。(P14) 5-3

5-2 初期化

初期化とは、Web Caster FT5000 アクセスポイントに設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。Web Caster FT5000 アクセスポイントがうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

アクセスポイントマネージャで初期化する（➡ 下記）

ディップスイッチで初期化する（➡ P5-5）

アクセスポイントマネージャで初期化する

アクセスポイントマネージャを起動して初期化を行います。

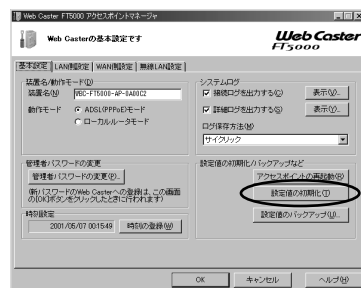
1 アクセスポイントマネージャを起動する

次のどちらかの方法で起動します。

イーザーアシスタントのメニュー画面から、[アクセスポイントマネージャの起動] をクリックし、管理者のパスワードを入力し、[OK] をクリックする。

[スタート] - [プログラム] - [Web Caster FT5000 ユーティリティ] - [Web Caster FT5000 アクセスポイントマネージャ] をクリックしたあと管理者のパスワードを入れ [OK] をクリックする。

2 [基本設定] タブの [設定値の初期化] ボタンをクリックする



3 [はい] をクリックする

Power ランプ / Ready ランプ / Data ランプが交互に点灯するのを繰り返したあと、Power ランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

お願い

- Web Caster FT5000 アクセスポイントの設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず、Web Caster FT5000 導入ウィザードを実行後、再設定してください。

ディップスイッチで初期化する

Web Caster FT5000 アクセスポイントのディップスイッチを使って初期化を行います。ディップスイッチは、底面のディップスイッチカバーを外した中にあります。

1 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を切る

2 ディップスイッチカバーを開ける

3 ディップスイッチの 4、5 を「ON」にする つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。



4 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れる Power ランプ / Ready ランプ / Data ランプが交互に点灯するのを繰り返したあと、Power ランプが緑色に点灯すると初期化が完了します。

5 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を切る

6 ディップスイッチの 4、5 を「OFF」に戻す



7 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れる



- Web Caster FT5000 アクセスポイントの設定を初期化した場合、管理者用パスワード、パケットフィルタ等の基本設定もクリアされますので、初期化後に必ず、Web Caster FT5000 導入ウィザードを実行後、再設定してください。

5

お困りのときには

5-3 自己診断

自己診断を行うと、Web Caster FT5000 アクセスポイントのハードウェアに異常がないかを確認することができます。

お願い

- 自己診断中は、電源を切らないでください。電源を切ると、設定内容が正しく保持されないことがあります。

自己診断を行う

1 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を切る

2 ディップスイッチカバーを開ける

3 ディップスイッチの 4 を「ON」にする

つまようじなど先の細いものでディップスイッチを「ON」側に倒してください。



4 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れる

自己診断を開始します。

< 診断中のランプ表示 >

Power ランプがオレンジ色に点灯します。

↓
正常に終了すると「ビビビ...」とブザーが鳴り、Power ランプがオレンジ色 / 緑色と交互に点滅します。

5 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を切る

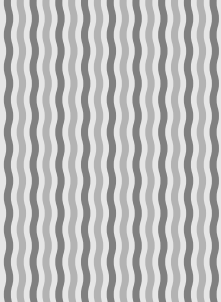
6 ディップスイッチの 4 を「OFF」に戻す



7 Web Caster FT5000 アクセスポイントの電源を入れる

? 異常が発見されたときは

- 自己診断テストで異常が発見されたときは、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
(☎ P6-11)



6

付録

6-1	製品仕様	6-2
6-2	用語解説	6-7
6-3	索引	6-9
6-4	保守サービスのご案内	6-11

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

6-1 製品仕様

Web Caster FT5000 アクセスポイント仕様

■ 仕様一覧

項 目		諸元および機能	備 考
WAN インタフェース	インタフェース	10BASE-T × 1 ポート	8 ピンモジュラージャック (RJ-45)
	データ転送速度 (1)	10 Mbit/s	
	ルーティングプロトコル	IP	PPP over Ethernet 対応
LAN インタフェース	インタフェース	USB × 1 ポート	
	データ転送速度 (1)	12 Mbit/s	
	接続機能	アプリケーションによる手動接続 / 切断	自動接続可
無線 LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b RCR STD-33 ARIB STD-T66	無線 LAN 標準プロトコル 小電力データ通信システム規格
	周波数帯域 / チャネル	2.4 GHz 帯 (2400 ~ 2497 MHz) / ch1 ~ ch14	
	推奨接続台数 (クライアント数)	推奨台数 10 台以下	
	伝送方式	DS-SS 方式 (スペクトラム直接拡散方式)	
	伝送速度 (1)	11.0 / 5.5 / 2.0 / 1.0 Mbit/s	自動フォールバック
	伝送距離 (見通し距離)	屋外 : 約 50 m (11 Mbit/s) ~ 約 115 m (1 Mbit/s) 屋内 : 約 25 m (11 Mbit/s) ~ 約 50 m (1 Mbit/s)	自動フォールバック
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ (内蔵)	
	セキュリティ	ESSID、WEP、MAC アドレスフィルタリング	
	接続機能	アプリケーションによる手動接続 / 切断	自動接続可
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED × 3	
		10BASE-T カスケード切替スイッチ ディップスイッチ	
利用可能端末		PC-AT 互換機、PC98-NX	
利用可能 OS (ユーティリティおよびドライバ等の動作確認 OS)		Windows® Millennium Edition 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版 Windows® 98 Second Edition 日本語版 Windows® 98 日本語版	
診断機能		自己診断機能	
電源		AC100 V ± 10 % 50 / 60 Hz	
消費電力		約 9 W (最大)	
外形寸法 (mm) (幅 × 高 × 奥行)		約 70 × 181 × 157	突起部を除く

項 目	諸元および機能	備 考
質量	約 0.55 kg	オプションを除く
動作環境	温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90 %	結露しないこと

- 1 規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

ディップスイッチ

底面のディップスイッチカバーを開けるとディップスイッチ（DIP SW）が見えます。ディップスイッチは以下の ~ の場合にのみ変更してください。それ以外のときは変更しないで工場出荷時（購入時）の設定でお使いください。

自己診断するとき（☞P5-6）

購入時の状態に戻すとき（☞P5-5）

無線 HUB モードを利用するとき（☞P4-26）

●ディップスイッチ工場出荷時の設定



は、工場出荷時の状態です。

●ディップスイッチの変更

1	2	3	4	5	6	7	8	内容
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	通常
OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	自己診断
OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	購入時の状態に戻す
OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	無線 HUB モード

は、工場出荷時の状態です。

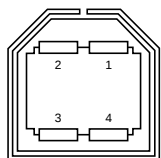


お知らせ

- 電源を入れたままでディップスイッチを変更したときは、電源をいったん切って再び入れ直すと設定が有効になります。

USB ポートインタフェース

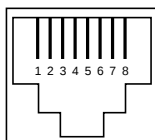
コネクタ形状



ピン番号	略称
1	Vcc
2	- D
3	+ D
4	GND

10BASE-T ポートインタフェース

コネクタ形状



- ストレート / クロス切り替えスイッチが「PC」のとき

ピン番号	略称	機能
1	RD +	受信データ +
2	RD -	受信データ -
3	TD +	送信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD -	送信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

- ストレート / クロス切り替えスイッチが「HUB」のとき

ピン番号	略称	意味
1	TD +	送信データ +
2	TD -	送信データ -
3	RD +	受信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD -	受信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

Web Caster FT5000 ステーション仕様

■ 仕様一覧

項 目		WBC FT5000-STC 諸元	WBC FT5000-STU 諸元	備 考
端末インタフェース		PC カード TYPE	USB	
無線 LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b RCR STD-33、ARIB STD-T66		無線 LAN 標準 プロトコル 小電力データ通 信システム規格
	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2400 ~ 2497 MHz) / ch1 ~ ch14		
	伝送方式	DS-SS 方式 (スペクトラム直接拡散方式)		
	伝送速度 (1) (Mbit/s)	11.0/5.5/2.0/1.0		自動フォール バック
	伝送距離 (見通し距離)	屋外 : 約 50 m (11 Mbit/s) ~ 約 115 m (1 Mbit/s) 屋内 : 約 25 m (11 Mbit/s) ~ 約 50 m (1 Mbit/s)		環境により変 動
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ (内蔵)		
	セキュリティ	ESSID、WEP		
ヒューマンインタフェース		状態表示 LED × 2		
利用可能端末		PC-AT 互換機、PC98-NX		
利用可能 OS		Windows® Millennium edition 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版 Windows® 98 Second Edition 日本語版 Windows® 98 日本語版		
電源		DC5 V × 300 mA	DC5 V × 500 mA	パソコンから 給電
消費電力		約 1.5 W (最大)	約 2.5 W (最大)	
外形寸法 (mm) (幅 × 高 × 奥行)		約 54 × 9 × 119	約 63 × 146 × 88	
質量		約 0.06 kg	約 0.18 kg	
動作環境		温度 0 ~ 40	湿度 10 ~ 90 %	結露しないこと

1 規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

6-2 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。

【アルファベット順】

ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。

上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速（下り 1.5 ～ 9Mbps）で安価な常時接続環境を提供する。

bit/s

bit per second の略。通信速度の基本単位。秒あたりに伝送されるビット数。

DNS(Domain Name System)

IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能です。

IP アドレス

インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例：192.168.0.10）。

LAN

Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。

PPP

Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoE

PPP over Ethernet の略。ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザー認証技術です。Ethernet 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行います。

6

付録

【あいうえお順】

【か行】

クライアント

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。

【さ行】

サーバ

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。

【は行】

プロトコル

通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束事。

【ら行】

ルータ

複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

[記号・数字]

10BASE-T ポート	1-4, 6-5
10BASE-T ポート状態表示 LED	1-4
～が点灯しないとき	2-26

[A ～ Z]

ACT ランプ	1-6
ADSL モデムに接続する	2-25
CD-ROM	1-4
Data ランプ	1-3
DHCP クライアント機能	2-27
DHCP サーバ機能	4-5
DNS	4-7
プライマリ～/セカンダリ～	2-24
DNS フォワーディング	4-7
IEEE802.11b 無線 LAN	4-9
IP アドレス	2-27
WAN 側～が 正しく設定されていない場合 ...	2-30
IP ルータ機能	4-8
LAN	4-2
LAN カード機能 ～を停止する	2-16
MAC アドレスセキュリティ機能	4-11
Microsoft ネットワーク共有サービス	4-15
Microsoft ネットワーククライアント	4-15
NAT/IP マスカレード	4-2
PC カードコネクタ	1-6
PC カードスロット	2-3
Power ランプ	1-3
PWR ランプ	1-6
Ready ランプ	1-3
TCP/IP	4-15
USB ポート	1-4, 1-6, 2-11, 6-5
WBC FT5000-STC	1-6
～を取り付ける	2-11
～の取り扱いについて	2-14
WBC FT5000-STU	1-6
～を接続する	2-11
Web Caster FT5000 ステーション ...	1-6
～を使用する	2-3, 2-4
～のドライバを アンインストールする	2-15
Web Caster FT5000 アクセスポイント	1-3
～を接続するための準備	1-7
～の USB ポートを使用する	2-6

～のドライバを

アンインストールする	2-22
Web Caster FT5000 導入ウィザード	2-10, 2-18
WEP	2-17, 4-10
WEP / MAC アドレスセキュリティ機能 ...	4-10

[ア行]

アース接続端子	1-4
アクセスマネージャ	17, 2-13, 2-20
～で接続状態を確認する	2-31
アクセスポイントマネージャ	17
～を起動する	3-6
～で初期化する	5-4
～で設定する	3-6
アンインストール Web Caster FT5000 アクセスポイントドライバの～	2-22
Web Caster FT5000 ステーションドライバの～	2-15
イージーアシスタント	17
～を起動する	2-9, 3-3
～のインストール	2-7, 2-18
～の使いかた	3-2
インストール USB ドライバの～	2-18
イージーアシスタントの～	2-7, 2-18
インターネット ～に接続する	2-31
インターネット接続の設定	2-23
インタフェース	6-5

[カ行]

確認する Web Caster FT5000 アクセス ポイントとの通信状態を～	2-17
アクセスマネージャで 接続状態を～	2-31
管理者用パスワード	2-13, 2-20
～を忘れた場合	2-21
起動 アクセスポイントマネージャを～ ...	3-6
イージーアシスタントを～	2-9, 3-3
ステーションマネージャを～	3-12
共有する ファイルを～	4-17

プリンタを～	4-17
クライアント	4-14
ゲートウェイアドレス	2-28
購入時の状態に戻す	5-4

[サ行]

サーバ	4-14
サスペンド機能	2-4
自己診断	5-6
初期化	5-4
ステーションマネージャ	17
～を起動する	3-12
～で設定する	3-12
～で通信状態を確認する	2-17
ストレート/クロス切り替えスイッチ	1-4
製品仕様	6-2
セキュリティ機能	4-32
接続する	
ADSL モデムに～	2-25
インターネットに～	2-31
ブロードバンドモデムに～	2-29
設定する	
アクセスポイントマネージャで～	3-6
インターネット接続を～	2-23
コンピュータ名/ ワークグループを～	4-16
ステーションマネージャで～	3-12
無線 HUB モードを～	4-26
設定値の初期化	5-4

[タ行]

通信情報の表示	3-4
通信表示ランプ	1-6
停止	
LAN カード機能を～	2-16
ディップスイッチ	1-5, 6-4
～で初期化する	5-5
無線 HUB モードの～	4-26
データ通信詳細ガイド	12, 14
ディップスイッチカバー	1-5
電源を入れる	1-7
電源コード	1-4
電源スイッチ	1-5
電源ランプ	1-6
電子マニュアル	14
導入ウィザード	2-10, 2-18
ドメイン名	2-28
トラブルシューティング	5-2

[ナ行]

ネットマスク	2-27
ネットワークの参照	2-12

[ハ行]

バージョンアップ	3-4
パソコン	
～と接続するポート	2-2
フィルタリング	4-4
ブロードバンド	
ルータタイプの～	
モデムを設置する	4-19
ブロードバンドモデム	2-29
プロファイル	3-13
ホスト名	2-28

[マ行]

無線 HUB モード	16
～によるネットワーク拡張	4-19
無線ネットワーク	
～内のセキュリティ機能	4-37

[ヤ行]

ユーティリティ	17
用語解説	6-7

[ラ行]

ロギング機能	4-12
--------	------

6-4 保守サービスのご案内

- 保証について

保証期間（１年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

- 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

- 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの 113 番へご連絡ください。

- その他

定額保守サービス料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ： ☎ 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

- 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7 年間保有しています。

MEMO

MEMO

注 意

本製品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。

本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ：☎ 0120 - 109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2001 NTEAST・NTTWEST



本 2212-1 (2001.5)
WBC FT5000トリセツ